

# 足立区立小・中学校の 適正規模・適正配置実施計画

-- 北鹿浜小学校と鹿浜西小学校の適正規模・適正配置実施計画 --

令和元年 6 月

足立区教育委員会

## 目 次

### 第 1 章 児童・生徒数の推移と学校施設の更新

- 1 足立区の児童・生徒数と足立区内人口の推移 . . . . . 1
- 2 学校施設の更新 . . . . . 2

### 第 2 章 鹿浜エリアの小学校の現状と課題

- 1 鹿浜エリアの児童数・学級数 . . . . . 3
- 2 北鹿浜小学校の状況 . . . . . 3
  - ( 1 ) 学校規模の推移
  - ( 2 ) 児童数と通学区域内の居住人数
  - ( 3 ) 施設更新
- 3 鹿浜西小学校の状況 . . . . . 4
  - ( 1 ) 学校規模の推移
  - ( 2 ) 児童数と通学区域内の居住人数
  - ( 3 ) 施設更新
- 4 皿沼小学校の状況 . . . . . 5
  - ( 1 ) 学校規模の推移
  - ( 2 ) 児童数と通学区域内の居住人数
  - ( 3 ) 施設更新
- 5 鹿浜五色桜小学校の状況 . . . . . 6
  - ( 1 ) 学校規模の推移
  - ( 2 ) 児童数と通学区域内の居住人数
  - ( 3 ) 施設更新
- 6 鹿浜第一小学校の状況 . . . . . 7
  - ( 1 ) 学校規模の推移
  - ( 2 ) 児童数と通学区域内の居住人数
  - ( 3 ) 施設更新

### 第3章 北鹿浜小学校と鹿浜西小学校の適正規模・適正配置実施計画

1 実施計画の目的	9
2 適正規模・適正配置の具体的な方法	9
(1)「北鹿浜小学校」と「鹿浜西小学校」を統合します	
(2)統合に伴い「旧鹿浜中学校」を改築します	
(3)在校生は原則として「統合校に通学」します	
(4)「新校舎での学校生活の開始にあわせて統合」します	
3 適正規模化のスケジュール	14
4 統合地域協議会の設置	15
【資料編】	16

#### 実施計画の位置づけ

この実施計画は、足立区立小・中学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方に基づいて策定した鹿浜エリア<sup>1</sup>の小学校統合の指針となるものです。両校および周辺小学校の学校規模や児童数の変動、施設更新の状況などエリア内の課題を明らかにし、改善方法や事業の実施時期などを明確にお示ししています。

#### 文中のグラフについて

国は、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」を一部改正し、平成23年4月から小学1年生のみ35人学級としました。東京都では、平成29年度現在、小学校は2年生まで、中学校は1年生のみ35人学級の編制としています。こうした状況を踏まえて、今回の実施計画（案）のグラフなどは、40人学級を主としながらも、35人学級を併記した形としました。

なお、児童数・生徒数・学級数は各年度5月1日付、人口数は各年度1月1日付で外国人を含むデータを使用しています。

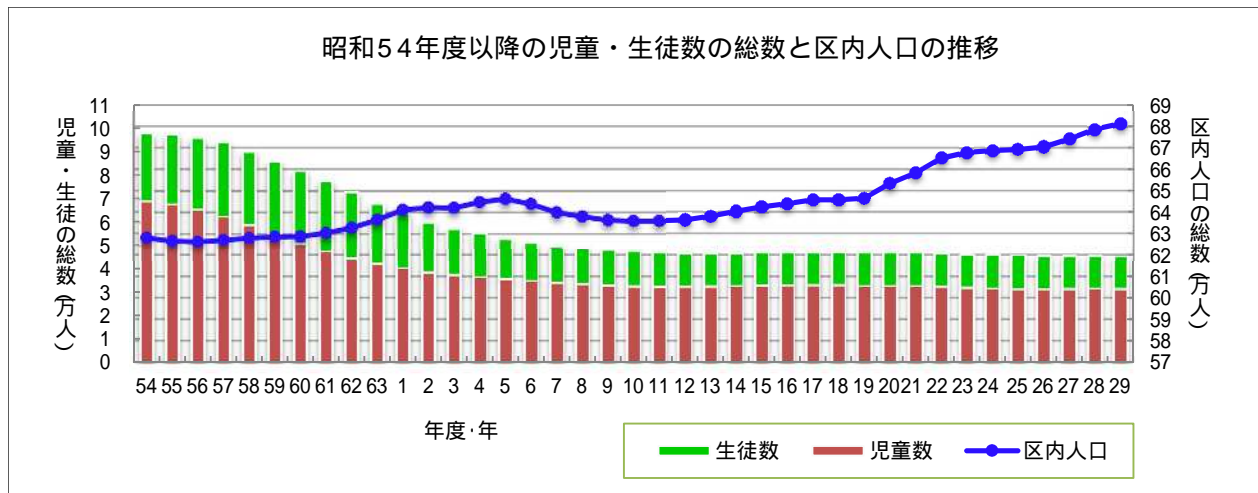
この実施計画は、平成30年1月に足立区教育委員会が作成した「北鹿浜小学校と鹿浜西小学校の適正規模・適正配置実施計画（案）」を、令和元年6月に足立区及び足立区教育委員会が決定したものです。

<sup>1</sup> 鹿浜エリアとは、おおむね環状七号線、尾久橋通り、舎人公園の南側に囲われた地域としています。

## 第1章 児童・生徒数の推移と学校施設の更新

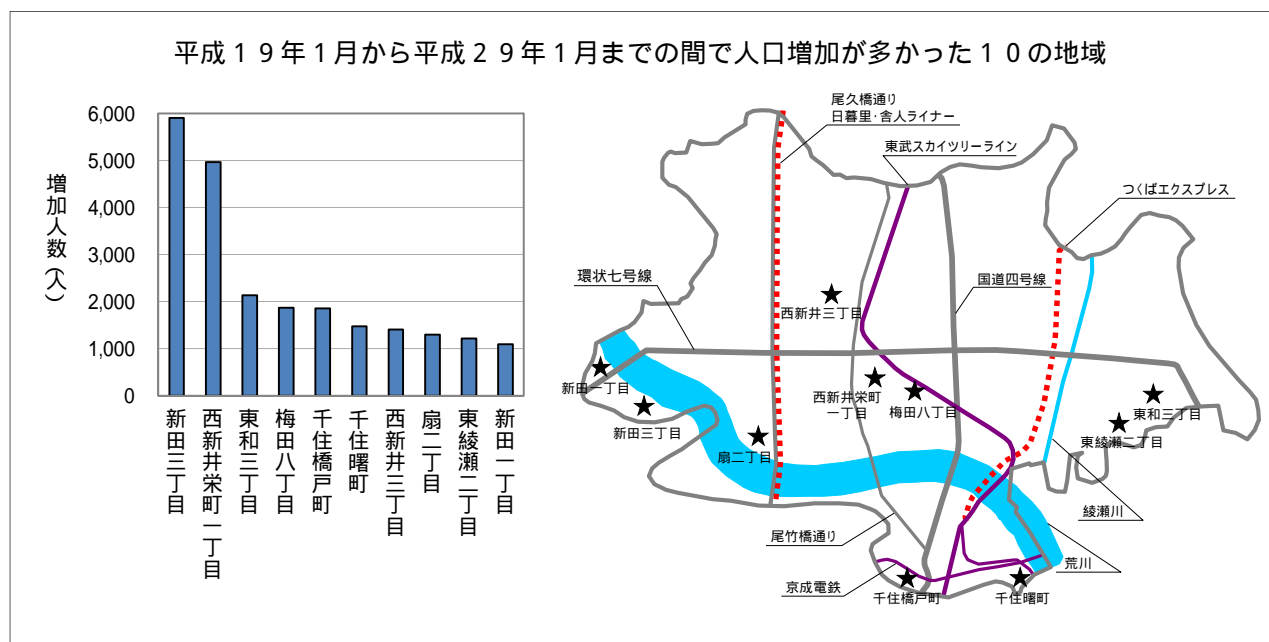
### 1 足立区の児童・生徒数と足立区内人口の推移

足立区立小・中学校の児童・生徒数は、昭和54年度の97,869人をピークに、平成10年頃まで急激に減少し、その後は、ほぼ横ばいを続け、平成29年度では45,215人となっています。一方、区内人口は平成11年以降引き続き増加しており、平成29年1月現在では681,281人となっています。



区内人口が急激に増加し始めた平成19年1月から平成29年1月までの10年間の人口を地域ごとに比較すると、特に人口の増加が多かったのは、新田三丁目や西新井栄町一丁目などの大規模集合住宅の開発が行われた地域です。

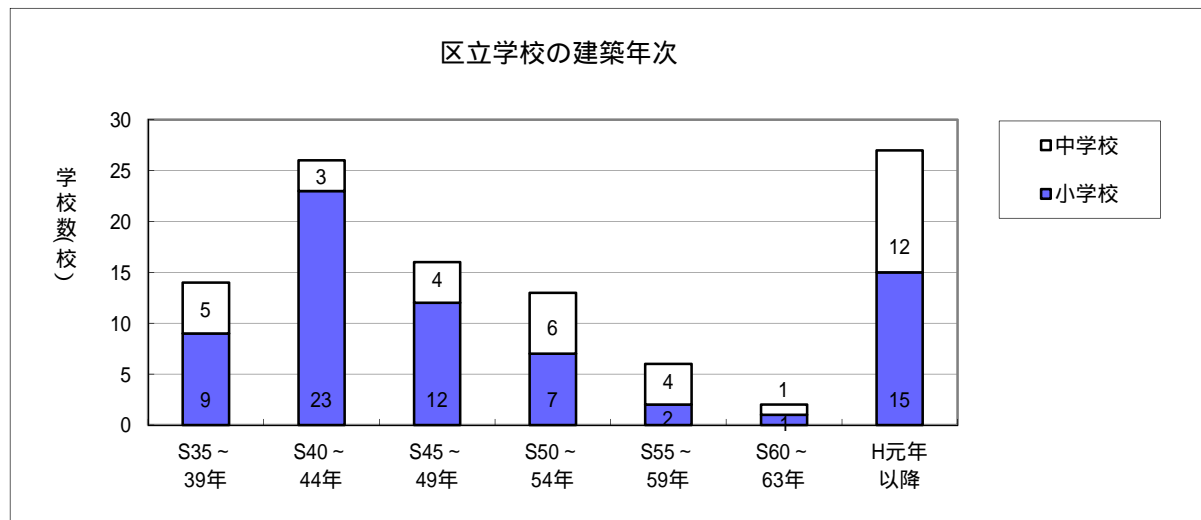
日暮里・舎人ライナー沿線の地域では、扇二丁目の1,301人をはじめとして、小台一丁目1,012人、舎人五丁目856人などの人口の増加が見られます。ただし、北鹿浜小学校と鹿浜西小学校の通学区域に限ってみると、加賀一丁目1,644人の人口増加がありますが、全体では減少傾向にあります。



## 2 学校施設の更新

足立区では、昭和30年代から昭和40年代に多くの小・中学校を建設し、昭和62年度には小学校80校、中学校39校の合計119校を有していました。その後、学校の統合を行い、平成29年度現在では小学校69校、中学校35校の合計104校となっています。

また、学校施設の耐用年数の目安を建築後65年から82年程度としており、今後多くの小・中学校で施設更新の時期を迎えます。施設更新は、現在および未来の子どもたちに安全で快適な教育環境を提供するために非常に重要です。こうした施設更新は、適正配置事業により学校数の縮減を図りながら、計画的に改築などを進めていく必要があります。



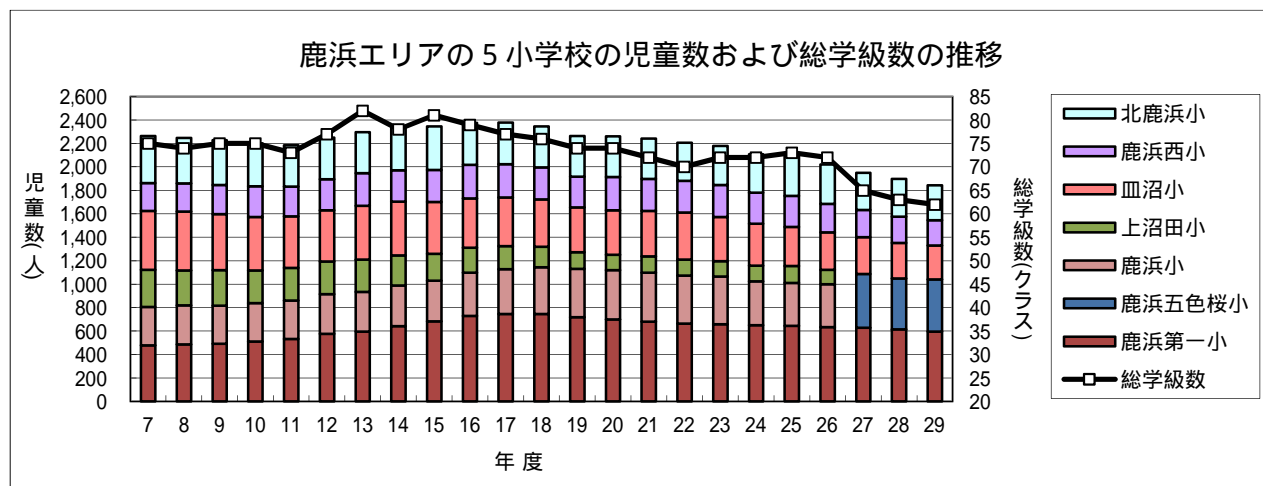
改築（改築中の鹿浜菜の花中学校及び江北桜中学校を含む。）や大規模改修された学校は平成元年以降にカウントされています。また、新田学園は、学校設置条例にあわせそれぞれ小学校・中学校にカウントされています。

## 第2章 鹿浜エリアの小学校の現状と課題

### 1 鹿浜エリアの児童数・学級数

鹿浜エリアには、北鹿浜小学校、鹿浜西小学校、皿沼小学校、鹿浜五色桜小学校、および鹿浜第一小学校の5校を設置しています。この5校の児童総数は、平成7年度の2,264人に対して平成29年度は1,842人と、約19%減少しています。

総学級数は、平成7年度の75学級から平成29年度現在62学級となり、13学級減少しています。



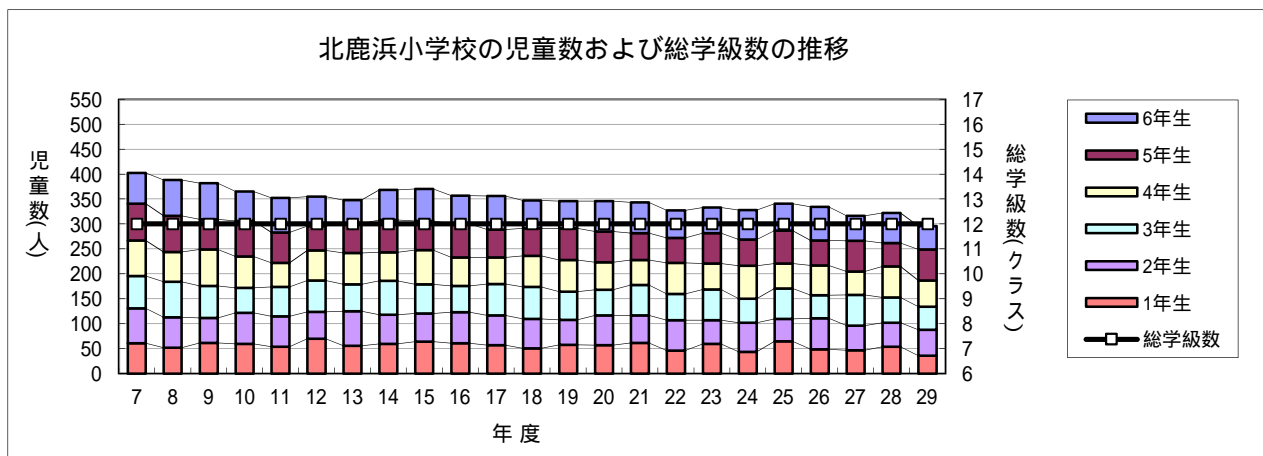
上沼田小学校と鹿浜小学校を平成27年4月に統合し、鹿浜五色桜小学校が開校しました。

### 2 北鹿浜小学校の状況

#### (1) 学校規模の推移

平成7年度以降の児童数の推移をみると、平成7年度の402人に対して、平成29年度は296人となっており、約26%減少しています。児童数で見ると、平成16年度以降小規模校の状況が続いています。

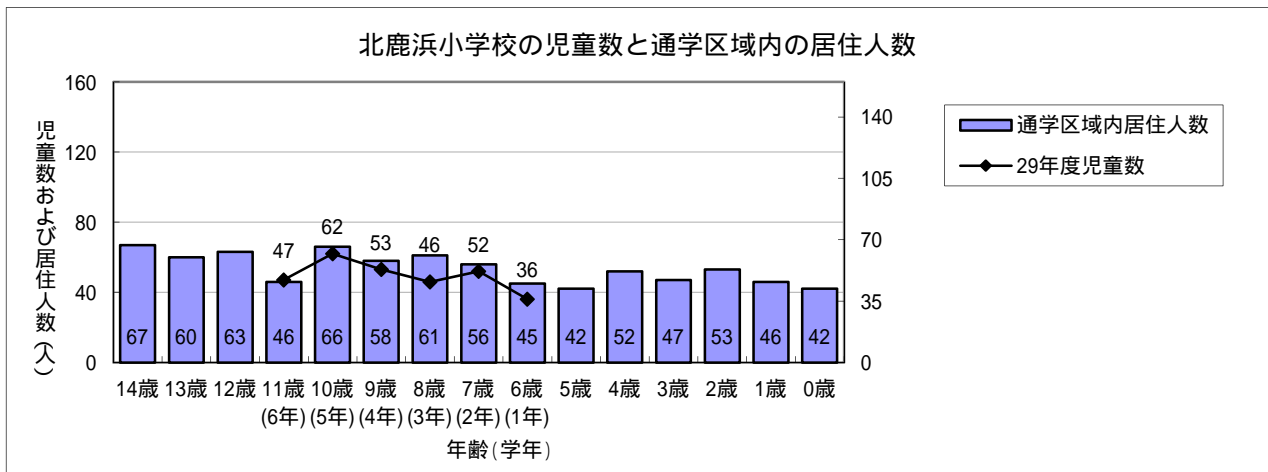
総学級数については、平成7年度以降12学級で推移しています。



児童数の詳細は、資料1「鹿浜エリア内5小学校の詳細データ」に掲載しています。次ページ以降も同様です。

## (2) 児童数と通学区域内の居住人数

平成29年度現在、各学年1学級から2学級規模の児童数となっています。児童数は6学年を除く全学年で通学区域内の居住人数を下回っており、学校選択制度を活用し、他の通学区域の学校への入学傾向がうかがえます。また、通学区域内の居住人数をみると、0歳から5歳、6歳から11歳ともに2学級規模となっています。



## (3) 施設更新

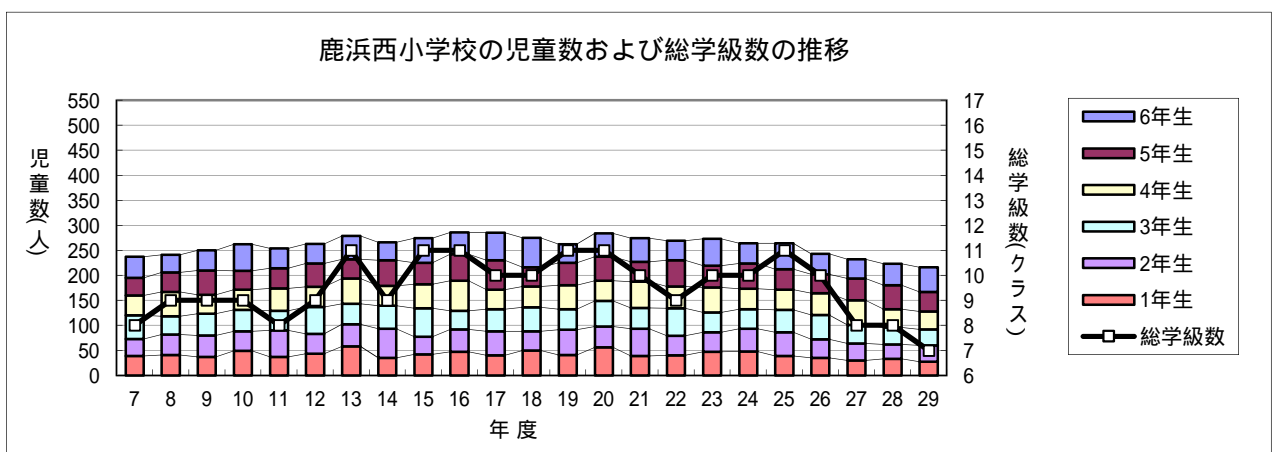
北鹿浜小学校の最も古い校舎は昭和48年に建てられ、建築後40年以上を経過しており、計画的かつ円滑な施設更新を進めていく必要があります。

## 3 鹿浜西小学校の状況

## (1) 学校規模の推移

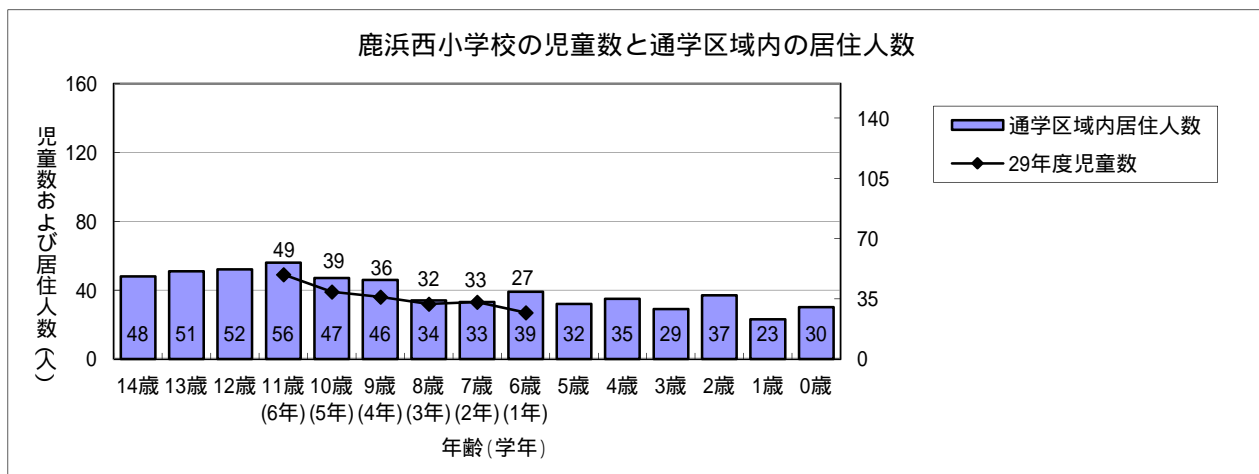
平成7年度以降の児童数の推移をみると、平成7年度の237人に対して、平成29年度は216人となっており、約9%減少しています。

総学級数については、平成7年度以降11学級以下で推移しており、ここ数年は一段と小規模化が進んでいます。



### (2) 児童数と通学区域内の居住人数

平成29年度現在、各学年1学級から2学級規模の児童数となっています。児童数は2学年を除く全学年で通学区域内の居住人数を下回っており、学校選択制度を活用し、他の通学区域の学校への入学傾向がうかがえます。また、通学区域内の居住人数をみると、0歳から5歳、6歳から11歳ともに1学級から2学級規模となっています。



### (3) 施設更新

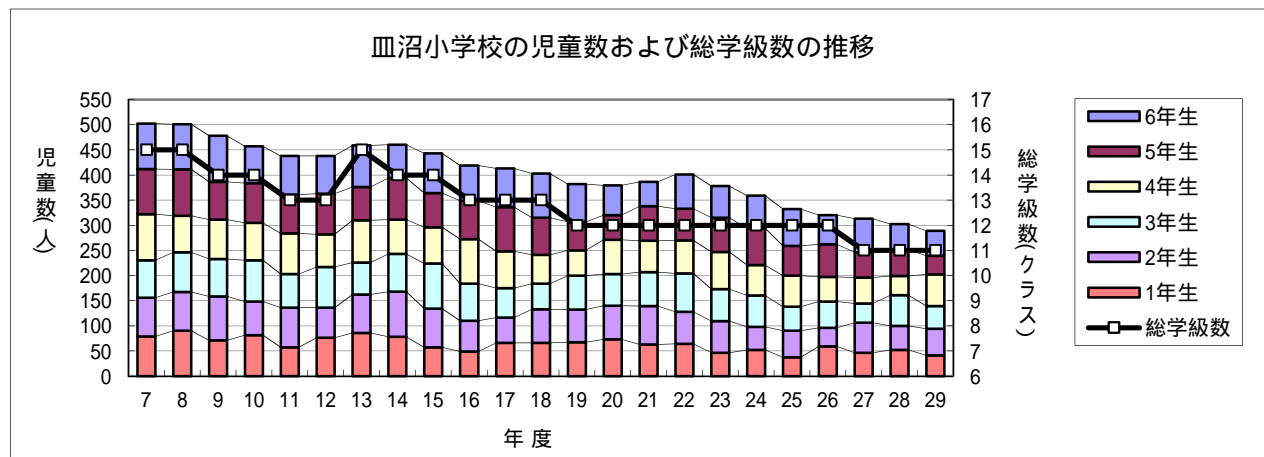
鹿浜西小学校の最も古い校舎は昭和44年に建てられ、まもなく建築後50年を迎えることから、計画的かつ円滑な施設更新を進めていく必要があります。

## 4 皿沼小学校の状況

### (1) 学校規模の推移

平成7年度以降の児童数の推移をみると、平成7年度の502人に対して、平成29年度は289人となっており、約42%減少しています。

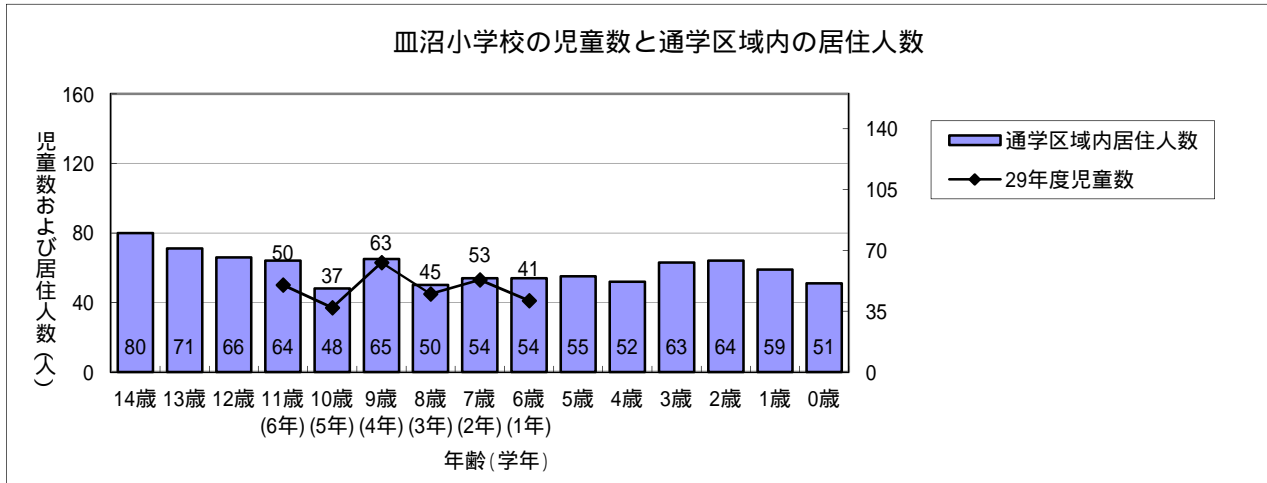
総学級数については、平成27年度以降11学級で推移しており、小規模校の状況です。





## (2) 児童数と通学区域内の居住人数

平成29年度現在、各学年2学級規模の児童数となっています。児童数は全学年で通学区域内の居住人数を下回っており、学校選択制度を活用し、他の通学区域の学校への入学傾向がうかがえます。また、通学区域内の居住人数をみると、0歳から5歳、6歳から11歳ともに2学級規模となっています。



## (3) 施設更新

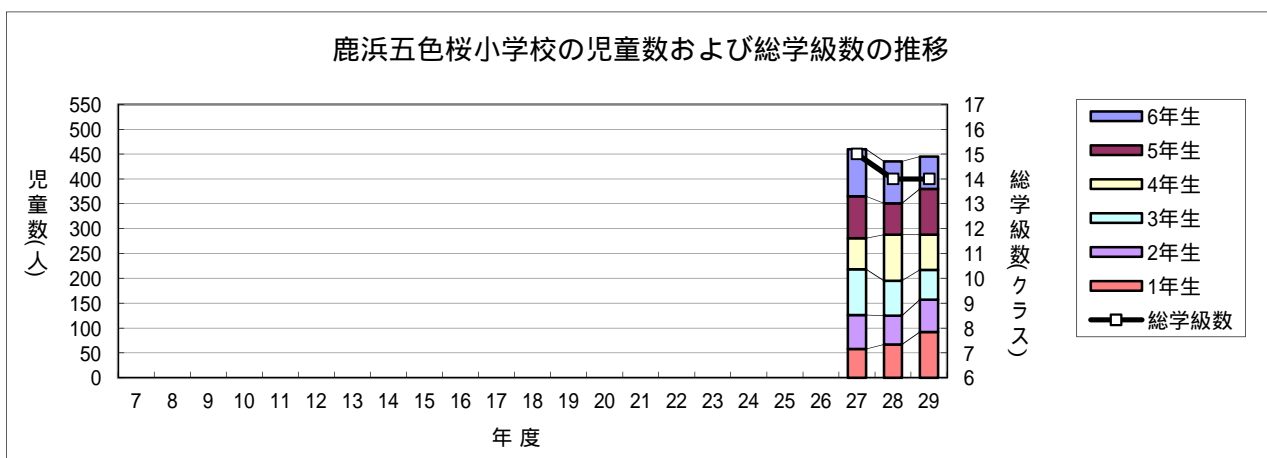
皿沼小学校の校舎は昭和57年に建てられており、当面は適正な維持補修を行っていきます。

## 5 鹿浜五色桜小学校の状況

## (1) 学校規模の推移

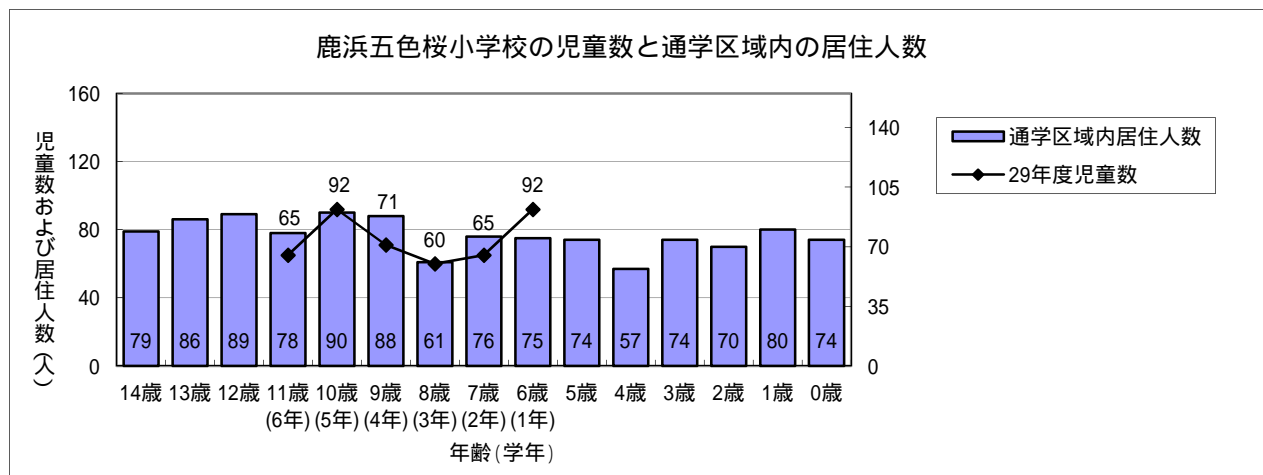
平成27年度の統合以降の児童数の推移をみると、平成27年度の460人に対して、平成29年度は445人となっており、約3%減少しています。

総学級数については、平成27年度に統合して以降、適正規模で推移しています。



### (2) 児童数と通学区域内の居住人数

平成29年度現在、各学年2学級から3学級規模の児童数となっています。児童数は多くの学年で通学区域内の居住人数を下回っていますが、新校舎へ移転した平成29年度の1学年では居住人数を上回っており、学校選択制度を活用し、他の通学区域からの入学傾向がうかがえます。また、通学区域内の居住人数をみると、0歳から5歳、6歳から11歳ともに2学級から3学級規模となっています。



### (3) 施設更新

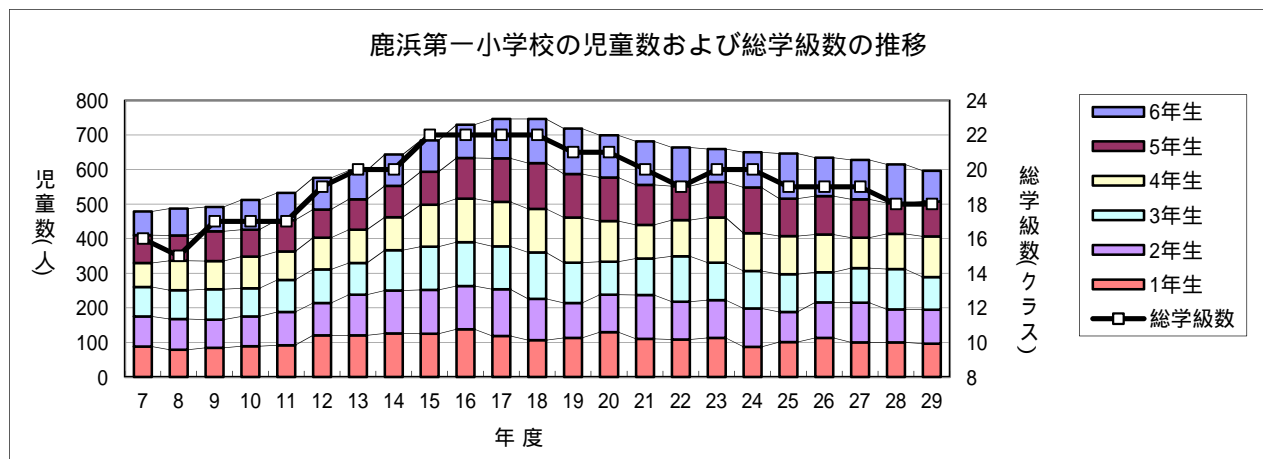
鹿浜五色桜小学校の校舎は平成29年に建てられています。

## 6 鹿浜第一小学校の状況

### (1) 学校規模の推移

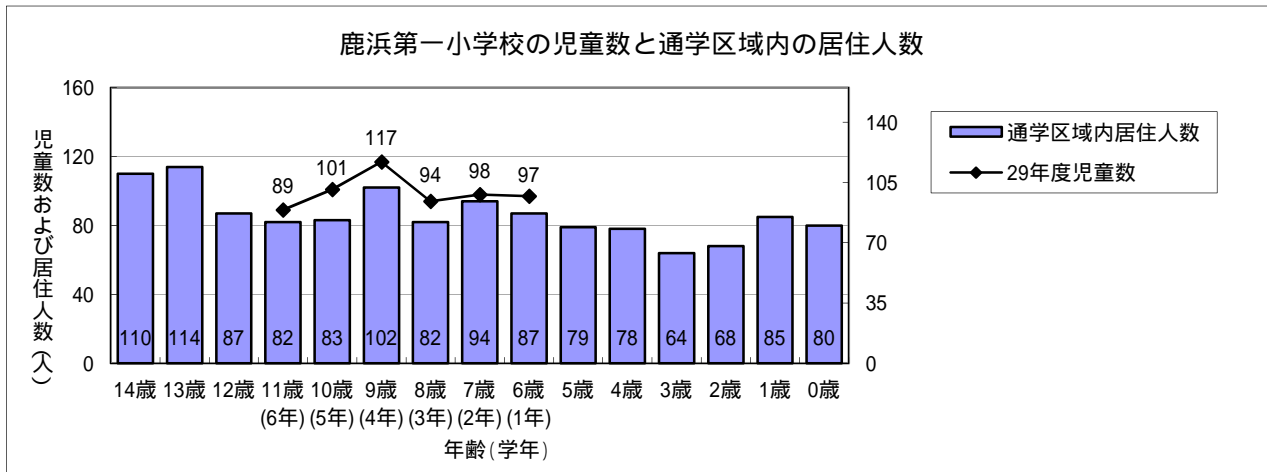
平成7年度以降の児童数の推移をみると、平成7年度の479人に対して、平成29年度は596人となっており、約24%増加しています。

総学級数については、平成7年度以降15学級から22学級の適正規模で推移しています。



## (2) 児童数と通学区域内の居住人数

平成29年度現在、各学年3学級から4学級規模の児童数となっています。児童数は全学年で通学区域内の居住人数を上回っており、学校選択制度を活用し、他の通学区域からの入学傾向がうかがえます。また、通学区域内の居住人数をみると、0歳から5歳では2学級から3学級規模、6歳から11歳では3学級規模となっています。



## (3) 施設更新

鹿浜第一小学校の最も古い校舎は昭和40年に建てられ、建築後50年以上を経過しています。今後、計画的かつ円滑な施設更新を進めていくこととなります。

## 第3章 北鹿浜小学校と鹿浜西小学校の適正規模・適正配置実施計画

### 1 実施計画の目的

第1章、第2章を踏まえ、以下の点を目的に実施します。

- (1) 鹿浜エリアの小学校における小規模傾向の改善を図ります  
一定程度の学校規模を保つよう整備することにより、学校生活をより充実させます。
- (2) 施設更新の観点から適正配置事業を推進します  
現代の学びにあわせた校舎を設置し、より良い教育環境を整備します。

### 2 適正規模・適正配置の具体的な方法

#### (1)「北鹿浜小学校」と「鹿浜西小学校」を統合します

学校の適正規模・適正配置を進めるにあたっては、一定のエリアを設定し、地域を一体的に考えていくこととしています。おおむね環状七号線、尾久橋通り、舎人公園の南側に囲まれたこの地域を鹿浜エリアとして、小学校の適正規模・適正配置を進めていきます。このエリアには5つの小学校が設置されており、平成29年度現在の学校規模は以下のとおりとなっています。

北鹿浜小学校は12学級ですが、児童数で見ると小規模傾向にあります。また、通学区域内の就学前居住人口(0歳から5歳)は2学級規模となっています。

鹿浜西小学校は7学級の小規模校です。また、通学区域内の就学前居住人口は1学級から2学級規模となっており、大幅な増加は見込めないと考えます。

血沼小学校は11学級の小規模校です。また、通学区域内の就学前居住人口は2学級規模となっています。鹿浜エリア内の小学校の配置バランスや児童数の推移を考慮すると、直ちに適正規模・適正配置の検討をする必要はないと考えます。

鹿浜五色桜小学校は、平成27年4月に上沼田小学校と鹿浜小学校を統合して開校し、現在14学級の適正規模校です。また、通学区域内の就学前居住人口は2学級から3学級規模となっています。

鹿浜第一小学校は18学級の適正規模校です。通学区域外からの入学傾向がやや強く、通学区域内の就学前居住人口は2学級から3学級規模となっています。

こうした学校規模の状況、児童の通学距離や小学校の配置バランスなどを踏まえ、北鹿浜小学校と鹿浜西小学校を令和5年4月に統合します。統合により、地域の学校として安定した学校規模の維持や施設更新の課題を解決することができるとともに、学校生活をより充実させ、教育のさらなる向上を図ることができると考えます。

現在の通学区域と位置関係



図はおおまかな学校の位置を示したものであり、正確な位置を示すものではありません。

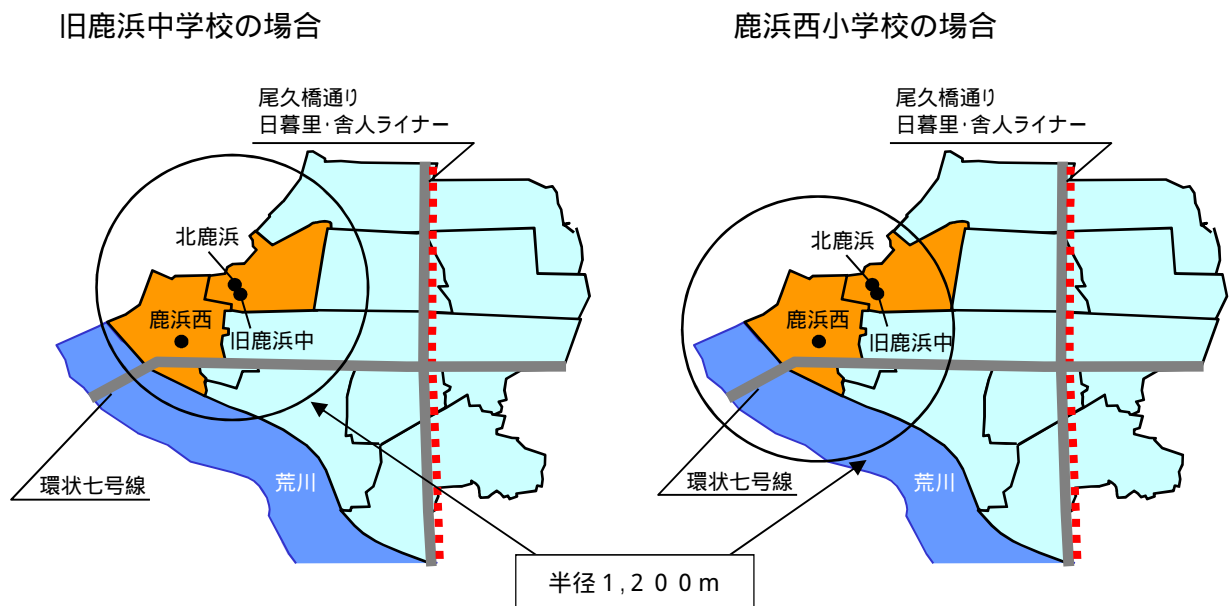
## （２）統合に伴い「旧鹿浜中学校」を改築します

統合校の位置は、適正配置の観点や学校の敷地面積を考慮して決定すべきであると考えます。統合に伴い、北鹿浜小学校と鹿浜西小学校の通学区域が１つになります。統合する通学区域を見ると、北鹿浜小学校と旧鹿浜中学校が中心付近にあるのに対し、鹿浜西小学校は西寄りに位置しています。両校の児童が、「毎日無理なく徒歩で通学できる距離」に統合校を配置することが望ましいと考えます。

一方、学校の敷地面積は、子どもたちの活動範囲を広げるという点においても考慮すべきであると考えます。３つの学校の敷地面積を見ると、旧鹿浜中学校が、両小学校よりも1,300㎡以上広がっています。

今回、児童の望ましい通学距離の確保や学校の敷地面積の広さ、小学校の配置バランス、通学路変更が１回で済むことなどを総合的に判断し、旧鹿浜中学校を改築して統合校を設置することとします。

現在の通学区域と児童の望ましい通学距離<sup>2</sup>（半径1,200m以内）



図はおおまかな学校の位置を示したものであり、正確な位置を示すものではありません。

学校等の建築年次と敷地面積

学校名等	建築年	敷地面積（㎡）
旧鹿浜中学校	昭和41年	11,647
鹿浜西小学校	昭和44年	10,153
北鹿浜小学校	昭和48年	10,275

<sup>2</sup> 望ましいと考える小学校の通学距離については、資料2「足立区立小・中学校の適正規模・適正配置の実現に向けて - 子どもの未来を創る適正規模・適正配置のガイドライン - 」概要版（23ページ）を参照してください。

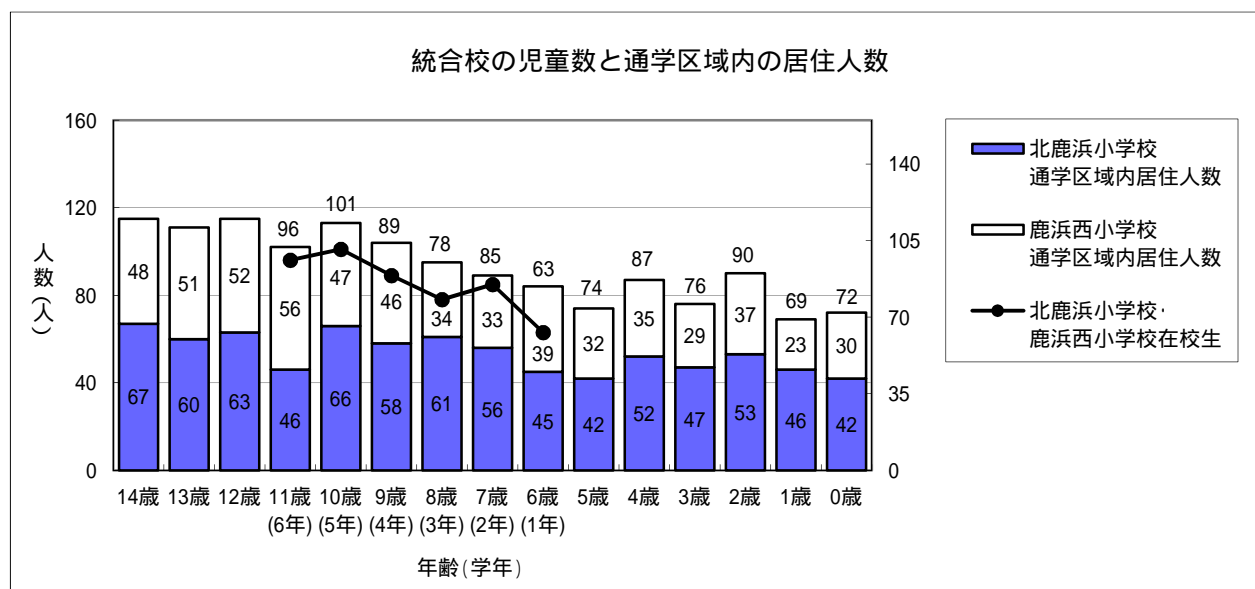
### (3) 在校生は原則として「統合校に通学」します

北鹿浜小学校と鹿浜西小学校の児童の友人関係や、保護者同士のつながりをそれぞれ継続しながら、統合校の学校生活が円滑に始められるように、統合時の両校の児童は、令和5年4月から原則として「統合校に通学」します。

しかし、今回の通学先の変更は統合に伴うもので、平成30年度までに入学した児童および保護者のみなさんは、小学校を決める時点で想定はできませんでした。そのため、統合する前年度の令和4年度までに転校<sup>3</sup>の申し出があった場合には、転校を可能とします。

#### 統合校の児童数と通学区域内の居住人数

この実施計画に基づき、北鹿浜小学校と鹿浜西小学校の統合を進めた場合の学校規模の想定は、下図のとおりです。統合する令和5年度には現在の0歳児が小学1年生になり、就学前居住人口が全員入学した場合、統合当初の児童数は各学年70人から90人程度で、学級数は各学年2学級から3学級規模になる見込みです。



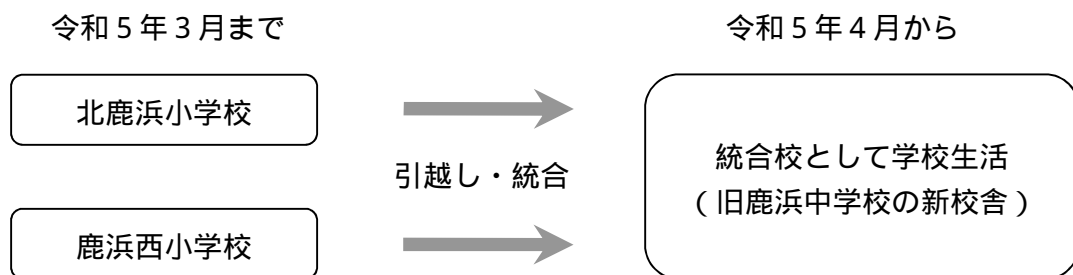
<sup>3</sup> 転校を承認する他の事例との公平性から、統合の年度以降の転校は認めません。また、統合が理由の転校は1回限りとし、それ以降は通常の基準により判断します。転校は、希望校に空きがある場合のみ、可能です。

**(4)「新校舎での学校生活の開始にあわせて統合」します**

学校の改築や大規模改修の場合は、一般的には新校舎の工事期間中、自校の校庭に仮設校舎（プレハブ）を建てて学校生活を続け、建築工事の終了後に新校舎に移るという方法で進められます。また、学校の統合の場合は、新校舎が完成するまでの約2年間、もう一方の校舎で学校生活を続けます。

今回は旧鹿浜中学校の場所を活用し、両校以外の用地に統合校を建設するため、新校舎での学校生活の開始にあわせて統合します。

具体的には、統合の前年度末までに「統合の手続き」を完了して、新校舎での学校生活を令和5年4月の統合とともにスタートします。したがって、統合とともに一方の校舎で統合校の改築を待つのではなく、統合とともに両校の児童、教職員が新校舎に引越します。

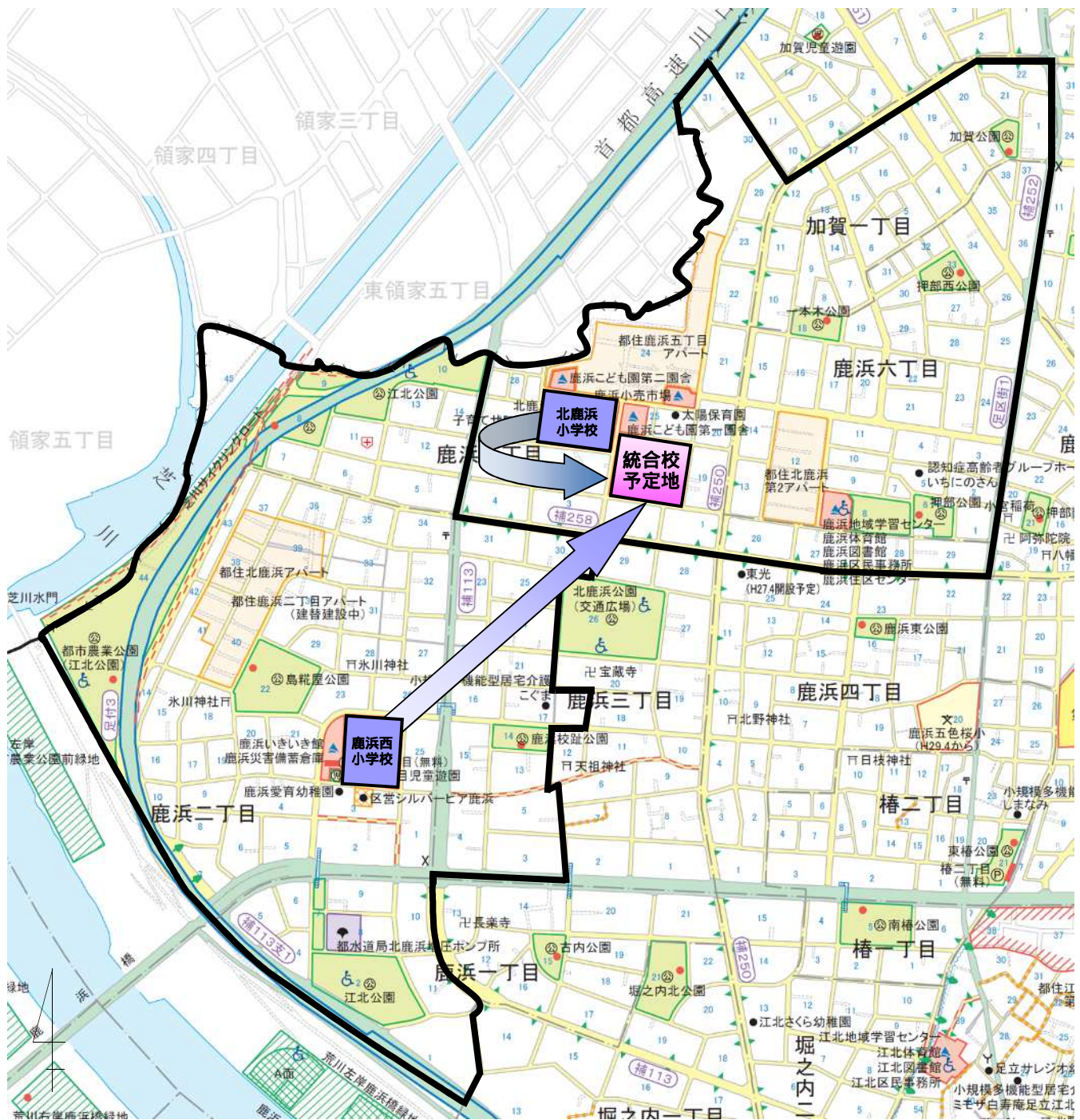
**統合までの流れ（イメージ）**

また、統合の手続きには、「両校とも廃止手続きを行い、統合後の新しい学校の設置手続きをする方法」と、「一方の学校の廃止手続きを行い、もう一方の学校に統合手続きをする方法」があります。

学校の名称や歴史などは大切な協議事項であるため、統合に向けて設置する統合地域協議会を通じて、地域や保護者のみなさんのご意見をいただきながら、最終的に統合の手続き方法などを決定します。



北鹿浜小学校と鹿浜西小学校の統合校建設予定地  
(旧鹿浜中学校 鹿浜五丁目18番)





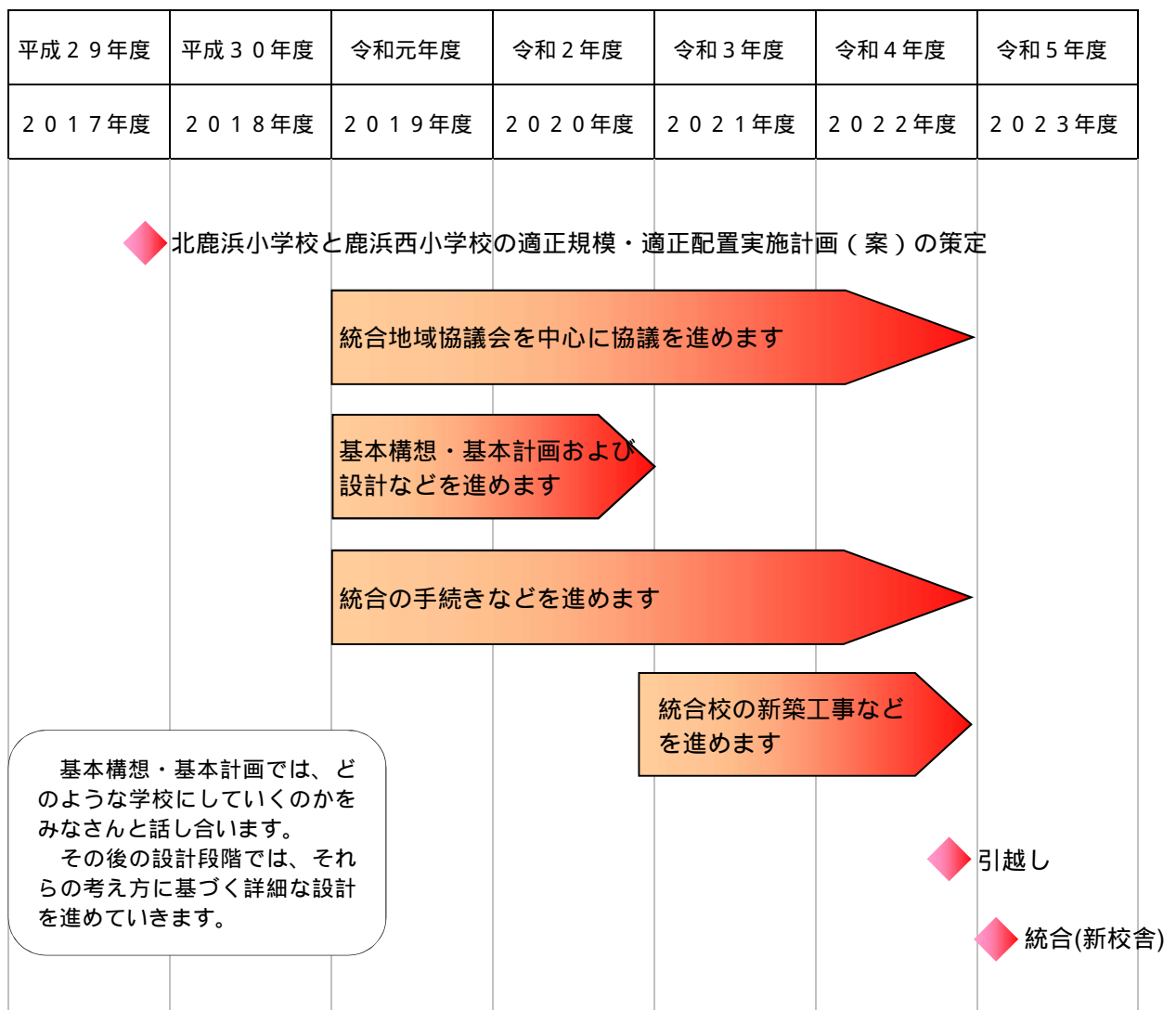
### 3 適正規模化のスケジュール

北鹿浜小学校と鹿浜西小学校を令和5年4月1日に統合し、旧鹿浜中学校に建設された新校舎で統合校として学校生活を開始します。

#### スケジュールの考え方

基本計画や設計	<p>「2つの学校を統合する」という大きな事業であるため、統合に伴う様々な課題を解決するための期間が必要です。</p> <p>また、「新校舎を建設する」ことから、どのような学校施設にしていくなかなど、学校や保護者、地域の方々と話し合う時間が必要です。そのため、基本計画や設計などの期間を「約2年間」とします。</p>
校舎の建設工事	<p>統合する両校以外の用地（旧鹿浜中学校）に新校舎を建設しますが、校舎解体工事が必要なことから、工事の期間を「約2年間」とします。</p>

#### 統合および新校舎建設のスケジュール



## 4 統合地域協議会の設置

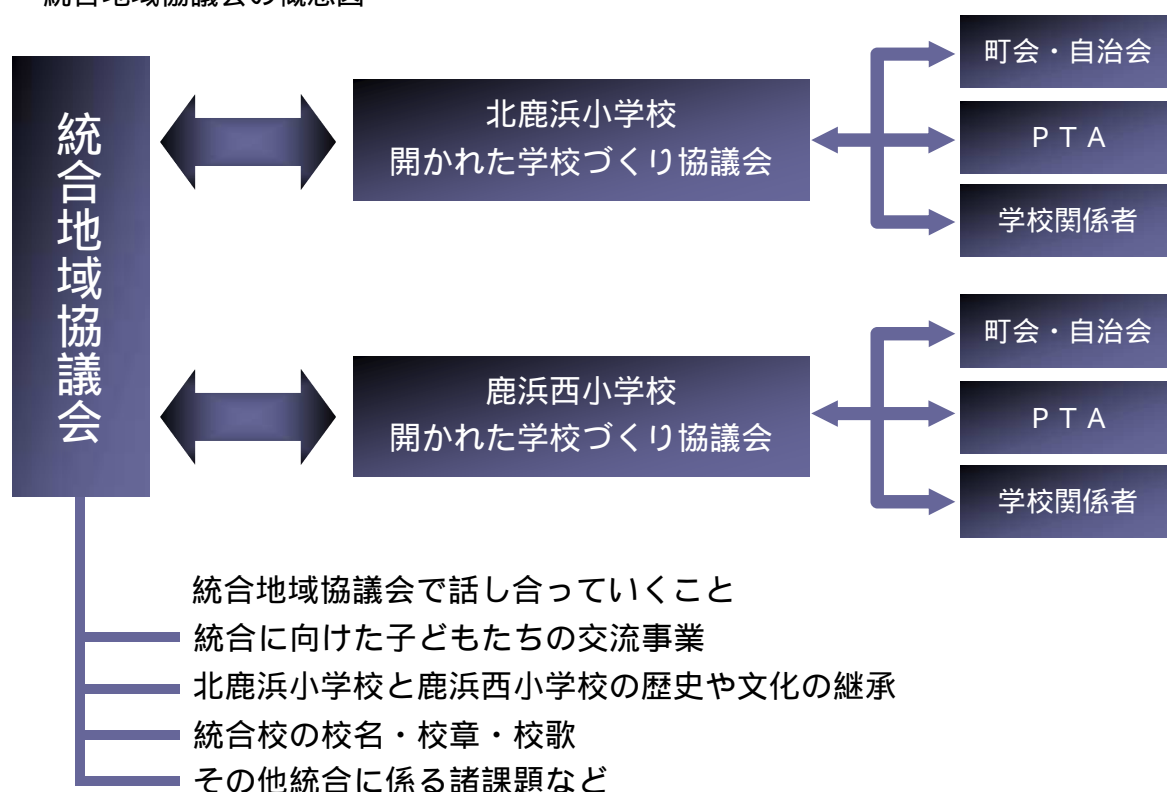
子どもたちにとって統合校がより良い教育環境となるよう、統合に伴う様々な課題を解決していく場として「統合地域協議会」を設置します。

統合地域協議会の委員<sup>4</sup>は、統合に関係する両校の代表者で構成します。その代表者は、町会・自治会、PTA、学校関係者などで構成されている「開かれた学校づくり協議会」の代表者を中心として、各学校ごとに選出していただきます。

統合地域協議会では、子どもたちが円滑に統合を迎えられるよう協議を行っていきます。両小学校がそれぞれに持っている歴史や文化の継承、学校施設の考え方、地域との関係の継続などについて話し合いを進めていきます。

統合地域協議会の委員のみなさんには、町会・自治会やPTAのみなさんのご意見やご要望を統合地域協議会に届けていただくとともに、統合地域協議会での協議内容を伝えていただくなど、ご協力をお願いします。

統合地域協議会の概念図



統合地域協議会の事務局は教育委員会が務め、統合地域協議会の運営や調整を行います。また、統合地域協議会での協議内容や統合に関する情報を、統合地域協議会ニュースなどを作成しながら、地域や保護者のみなさんへ情報発信を行っていきます。

<sup>4</sup> 統合地域協議会の委員は、各校の開かれた学校づくり協議会からの推薦とします。統合地域協議会の委員は、開かれた学校づくり協議会の委員を中心と考えていますが、統合に関係する地域や保護者の方々の推薦も可とします。

# 資料編

資料 1	鹿浜エリア内 5 小学校の詳細データ	1 7
資料 2	「足立区立小・中学校の適正規模・適正配置の実現に向けて - 子どもの未来を創る適正規模・適正配置のガイドライン - 」概要版	2 2
資料 3	平成 2 9 年度 足立区立小学校の通学区域図	2 6
資料 4	平成 2 9 年度 足立区立中学校の通学区域図	2 7
資料 5	平成 2 9 年度 足立区立小・中学校の児童・生徒数および学級数一覧	2 8

# 1 学校基礎データ 平成29年度版

資料 1

学校名	北鹿浜小学校	所在地	123-0864 足立区鹿浜5-27-1
交通	西新井駅(東武線)から東武バス産業道路東下車徒歩3分		

開校年月日	昭和48年4月1日	敷地面積	10,275㎡	特別支援学級	
建築年	昭和48年	延床面積	5,698㎡	学童保育室	
設計基準強度	18N/mm <sup>2</sup>				

## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

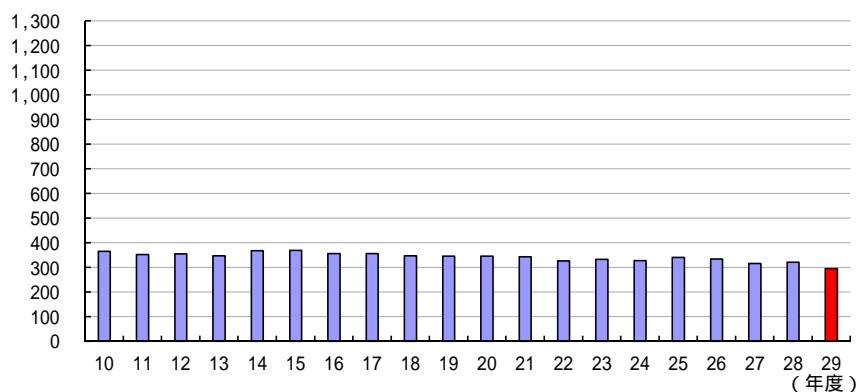
\* 普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
在籍人数	365	352	355	348	368	370	357	356	347	346	346	343	327	333	328	341	334	316	322	296
学級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

これまでの学校規模の推移について

学級数は12学級で一定していますが、児童数は減少傾向にあります。

学校全体の児童数の推移グラフ



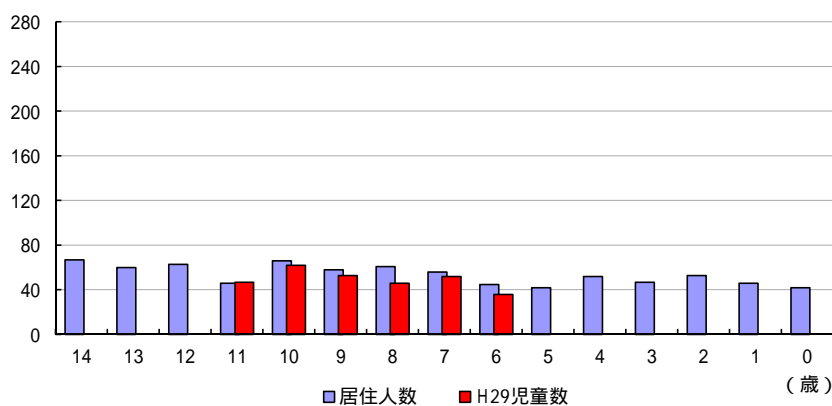
## 3 通学区域内の学齢・学齢前人口(H29/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H29学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	67	60	63	46	66	58	61	56	45	42	52	47	53	46	42
H29児童数				47	62	53	46	52	36						
H29学級数				2	2	2	2	2	2						

今後の児童数の推移について

通学区域内に住む学齢前人口は2学級規模で推移する見込みです。

通学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

北鹿浜小学校と鹿浜西小学校の小規模傾向の改善と、施設更新の課題を解決するため、鹿浜西小学校との統合計画を進めます。

学校名	鹿浜西小学校	所在地	123-0864 足立区鹿浜2-24-1		
交通	西新井駅(東武線)から東武バス鹿浜下車徒歩3分 王子・赤羽駅(JR等)から都営バス鹿浜橋下車徒歩3分				
開校年月日	昭和44年4月1日	敷地面積	10,153㎡	特別支援学級	
建築年	昭和44年	延床面積	4,226㎡	学童保育室	あり
設計基準強度	18N / m㎡				

## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

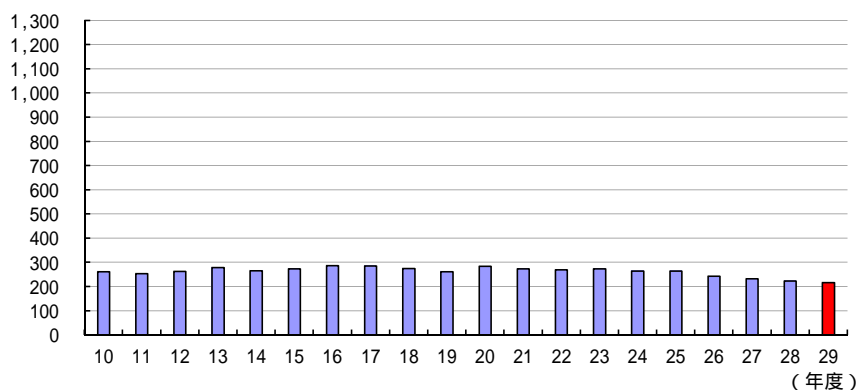
\* 普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
在籍人数	262	254	263	279	266	274	286	285	275	262	284	274	269	273	264	264	243	232	223	216
学級	9	8	9	11	9	11	11	10	10	11	11	10	9	10	10	11	10	8	8	7

これまでの学校規模の推移について

平成26年度以降、児童数・学級数ともに減少傾向にあります。

学校全体の児童数の推移グラフ



(年度)

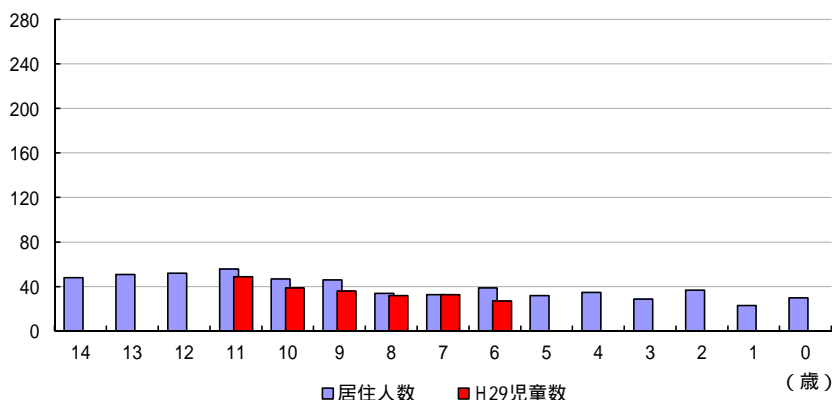
## 3 通学区域内の学齢・学齢前人口(H29/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H29学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	48	51	52	56	47	46	34	33	39	32	35	29	37	23	30
H29児童数				49	39	36	32	33	27						
H29学級数				2	1	1	1	1	1						

今後の児童数の推移について

通学区域内に住む学齢前人口は1学級から2学級規模で推移する見込みです。

通学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



■居住人数 ■H29児童数

(歳)

## 4 適正規模・適正配置の方向性

鹿浜西小学校と北鹿浜小学校の小規模傾向の改善と、施設更新の課題を解決するため、北鹿浜小学校との統合計画を進めます。

学校名	皿沼小学校	所在地	123-0862 足立区皿沼1-19-1
交通	西新井駅(東武線)から東武バス皿沼不動前下車徒歩7分		

開校年月日	昭和57年4月1日	敷地面積	12,735㎡	特別支援学級	
建築年	昭和57年	延床面積	6,095㎡	学童保育室	
設計基準強度	21N/mm <sup>2</sup>				

## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

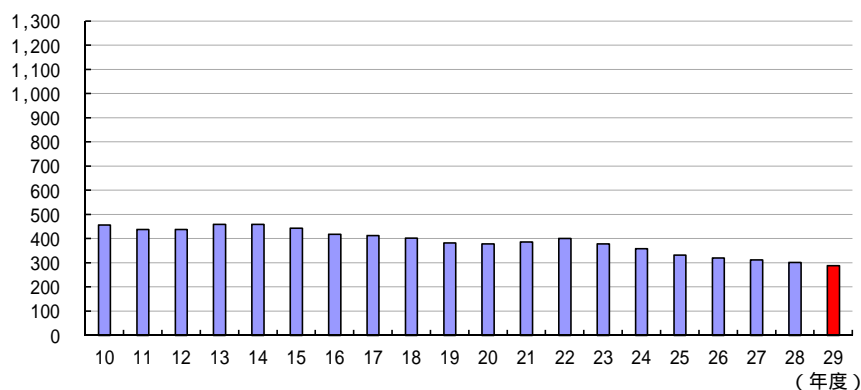
\* 普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
在籍人数	457	438	438	459	460	443	419	413	403	382	379	386	401	378	359	332	320	313	302	289
学級	14	13	13	15	14	14	13	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	11

これまでの学校規模の推移について

児童数に減少傾向が見られ、平成27年度以降、学級数が11学級となっています。

学校全体の児童数の推移グラフ



(年度)

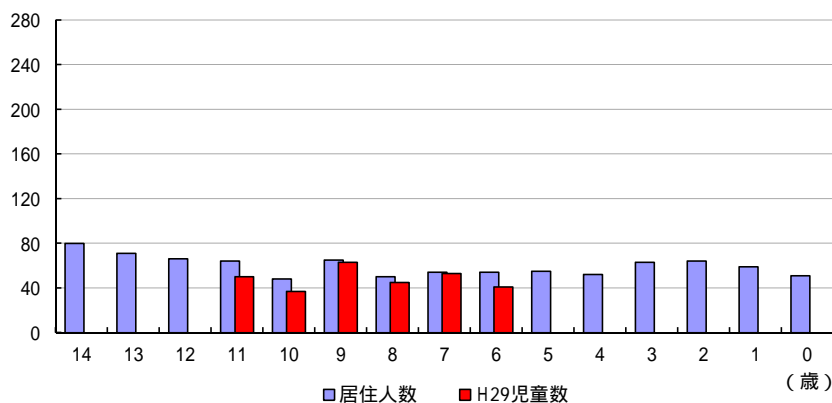
## 3 通学区域内の学齢・学齢前人口(H29/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H29学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	80	71	66	64	48	65	50	54	54	55	52	63	64	59	51
H29児童数				50	37	63	45	53	41						
H29学級数				2	1	2	2	2	2						

今後の児童数の推移について

通学区域内に住む学齢前人口は2学級規模で推移する見込みです。

通学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



(歳)

## 4 適正規模・適正配置の方向性

児童数・学級数ともに減少傾向は見られますが、周囲の学校と適正な距離が保たれており、直ちに適正規模・適正配置の検討をすることはありません。

学校名	鹿浜五色桜小学校	所在地	123-0864 足立区鹿浜4-20-22
交通	西新井大師西駅(日暮里・舎人ライナー)下車徒歩10分 西新井駅(東武線)から東武・国際興業バス鹿浜十字路下車徒歩3分、都営バス・国際興業バス椿二丁目下車徒歩3分		
開校年月日	平成27年4月1日	敷地面積	8,110m <sup>2</sup>
建築年	平成29年	延床面積	8,137m <sup>2</sup>
設計基準強度	36N/mm <sup>2</sup>	特別支援学級	情緒障がい等
		学童保育室	

## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

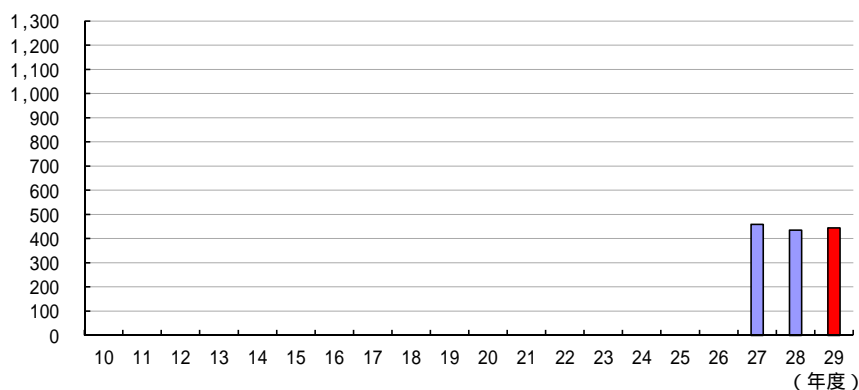
\* 普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
在籍人数																		460	435	445
学級																		15	14	14

これまでの学校規模の推移について

平成27年4月の統合後は14学級から15学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正な学校規模となっています。

学校全体の児童数の推移グラフ



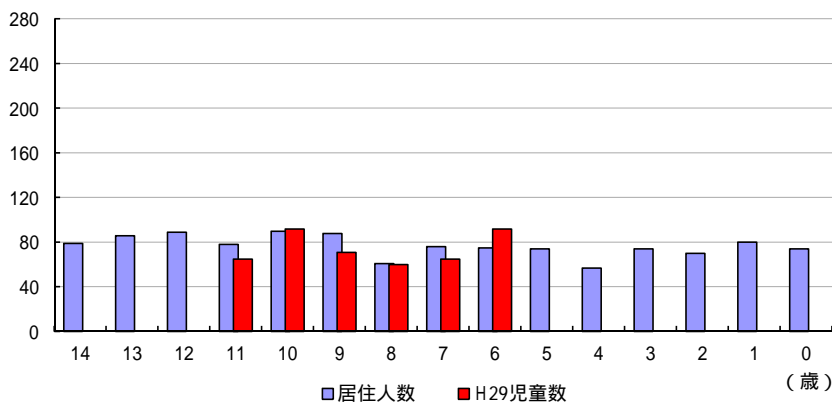
## 3 通学区域内の学齢・学齢前人口(H29/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H29学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	79	86	89	78	90	88	61	76	75	74	57	74	70	80	74
H29児童数				65	92	71	60	65	92						
H29学級数				2	3	2	2	2	3						

今後の児童数の推移について

通学区域内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。

通学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

平成27年4月に上沼田小学校と鹿浜小学校を統合しました。今後も適正規模で推移していくことが見込まれます。平成29年度から新校舎へ移転しました。

# 1 学校基礎データ 平成29年度版

資料 1

学校名	鹿浜第一小学校	所在地	123-0863 足立区谷在家2-24-1		
交通	西新井駅(東武線)から東武バス谷在家下車徒歩5分 谷在家駅(日暮里・舎人ライナー)下車徒歩8分				
開校年月日	昭和41年4月1日	敷地面積	12,636㎡	特別支援学級	知的障がい
建築年	昭和40年	延床面積	6,022㎡	学童保育室	
設計基準強度	18N/mm <sup>2</sup>				

## 2 これまでの学校規模の推移(各年度とも5/1付データ)

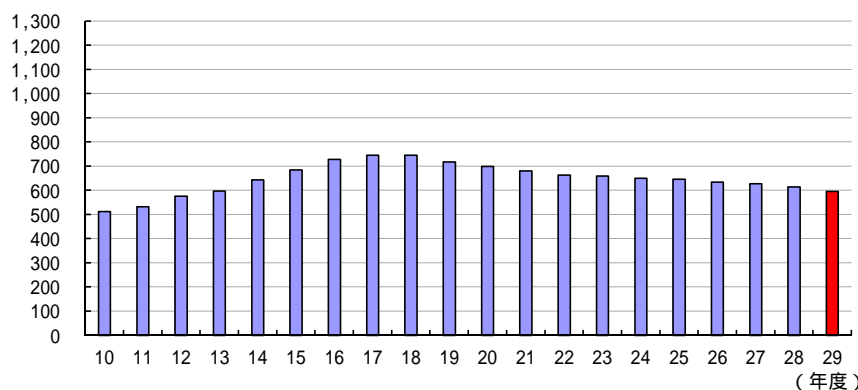
\* 普通学級の人数です。

年度	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
在籍人数	512	532	576	597	643	684	729	746	746	718	699	681	664	659	650	646	634	628	615	596
学級	17	17	19	20	20	22	22	22	22	21	21	20	19	20	20	19	19	19	18	18

これまでの学校規模の推移について

平成21年度以降、18学級数から20学級で推移しており、児童数・学級数ともに適正規模となっています。

学校全体の児童数の推移グラフ



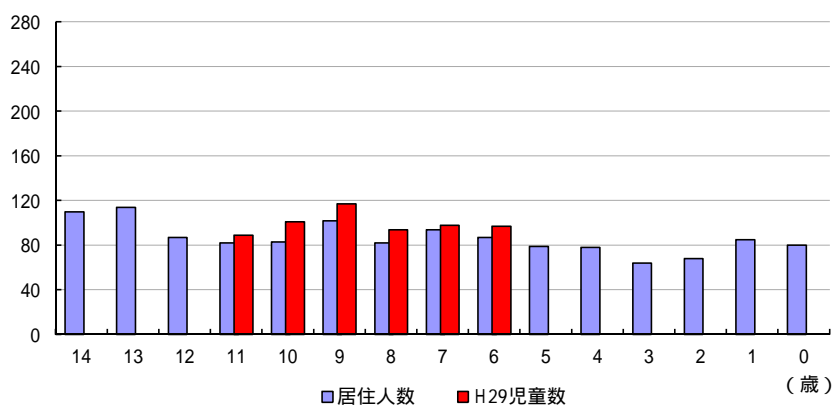
## 3 通学区域内の学齢・学齢前人口(H29/5/1付データ)

年齢	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
H29学年				6年	5年	4年	3年	2年	1年						
居住人数	110	114	87	82	83	102	82	94	87	79	78	64	68	85	80
H29児童数				89	101	117	94	98	97						
H29学級数				3	3	3	3	3	3						

今後の児童数の推移について

通学区域内に住む学齢前人口は2学級から3学級規模で推移する見込みです。

通学区域内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



## 4 適正規模・適正配置の方向性

適正規模で推移していくことが見込まれます。近隣の小学校の統合により、適正な配置が保たれています。



概要版

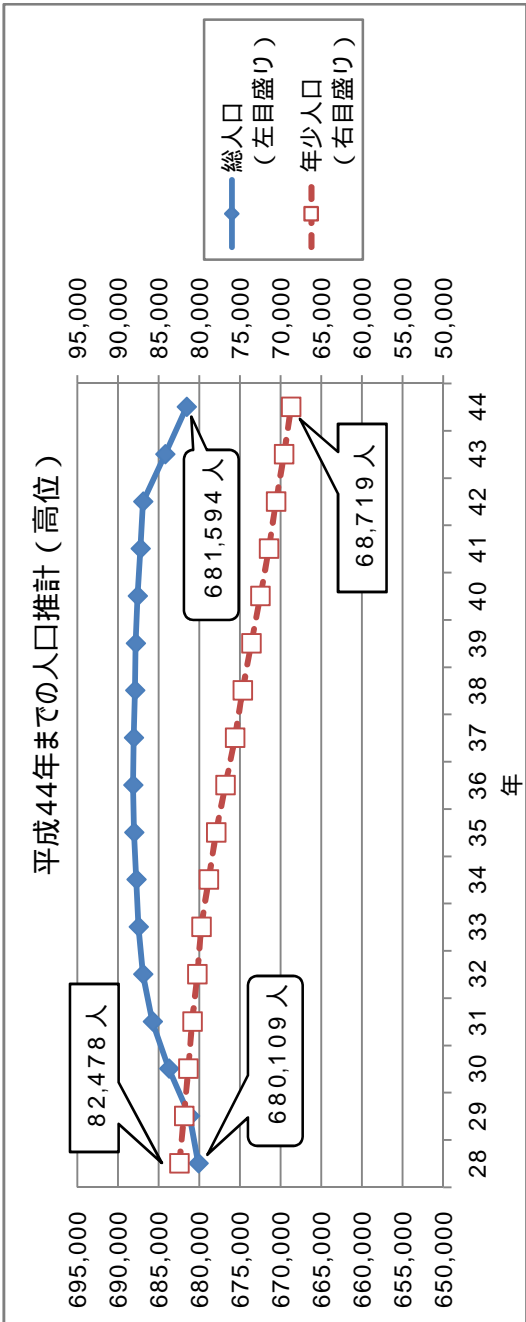
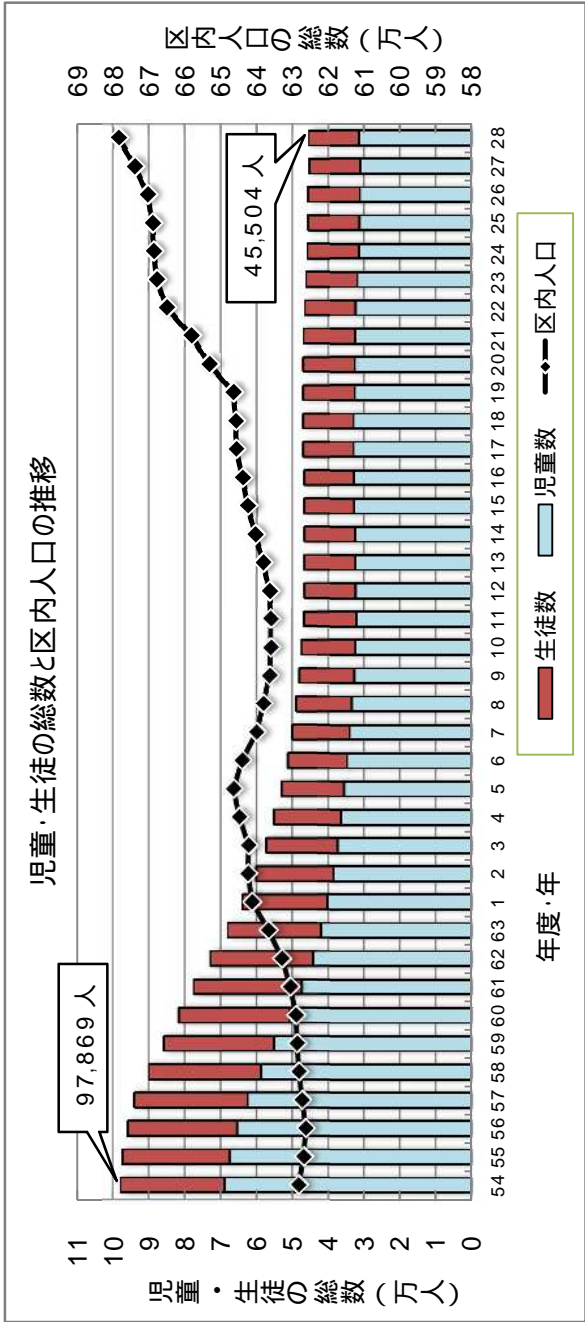
足立区立小・中学校の  
適正規模・適正配置の実現に向けて

～子どもの未来を創る適正規模・適正配置のガイドライン～

発行：足立区教育委員会事務局 学校適正配置担当  
電話：03-3880-5111（代表） 内線 3535

1 児童・生徒の総数と人口推計

足立区の総人口は近年増加傾向にあり、平成 28 年 4 月には 68 万人を超えました。しかし、児童生徒数は減少傾向をたどっています。平成 27 年 9 月実施の人口推計(高位)では、総人口は平成 36 年頃にピークを迎えるとされていますが、年少人口(0 歳～14 歳)は今後も減少傾向にあると予測されています。



（平成 27 年 9 月実施人口推計(高位)より作成。なお、平成 28 年は 4 月 1 日現在の実居住者人口です）

2 適正規模・適正配置に向けたこれまでの取り組み

足立区教育委員会では、平成 21 年度に前ガイドラインを策定し、今後の適正規模・適正配置事業の新たな指針を定めました。その後の取り組みにより、平成 28 年度現在、小学校は 69 校、中学校 36 校の合計 105 校となっています。

平成 21 年度以降の主な適正規模・適正配置事業の取り組み

年度	区分	統合等を実施した小・中学校
平成 24	統合	本木小学校の開校（本木小学校と本木東小学校を統合）
	学区域変更	栗原小学校と亀田小学校の学区域を変更 第七中学校と第十中学校の学区域を変更
平成 25	統合	足立小学校の開校（千寿第五小学校と五反野小学校を統合）
平成 27	統合	鹿浜五色桜小学校の開校（上沼田小学校と鹿浜小学校を統合）
平成 28	統合	鹿浜菜の花中学校の開校（鹿浜中学校と第八中学校を統合）
平成 29	統合	江北桜中学校の開校（上沼田中学校と江北中学校を統合）
予定	統合	新校開校予定（高野小学校と江北小学校を統合）

3 適正規模・適正配置の基準の見直し

[適正規模の新基準]

	小学校	中学校
適正規模	12～24 学級 (標準児童数 340～760 人)	12～24 学級 (標準生徒数 370～840 人)

適正な学級数「12 学級から 24 学級」

小学校では、最低限クラス替えができる各学年 2 学級以上が必要であるため「1 学年 2～4 学級の 12～24 学級」を適正規模とします。中学校では、同じ地域の小学校 2 校程度から 1 つの中学校に進学することを想定して「1 学年 4～8 学級の 12～24 学級」を適正規模とします。

適正な人数「小学校 340～760 人・中学校 370～840 人」

現在、足立区の 1 学級あたりの人数には東京都が定める基準を採用しています。1 学級あたりの人数は、小学 1・2 年生と中学 1 年生が 35 人編成で、それ以外の学年は 40 人編成です。この点を踏まえ、1 学級あたりの平均人数と適正な学級数、児童・生徒数を現状に合わせて変更します。

適正規模以外の考え方

学校の適正規模は一つの学校だけの問題ではなく、地域全体の問題として考える必要があります。また、6 学級以下の学校であっても、その地域全体で子どもが増える可能性があれば、直ちに統合の検討に入るのではなく、その後の推移を見守っていくなど、柔軟な対応が必要です。今後は過小・過大という表現を改め、適正規模に満たない学校はすべて小規模校とし、超える学校はすべて大規模校とします。

	小学校		中学校
通学時間	おおむね 30 分以内		
通学距離	おおむね 1,200m以内が望ましい	おおむね 1,800m以内が望ましい	
通学区域	小学校と中学校の通学区域は、交友関係や地域との結びつきなどを考慮し、できるだけ整合性を持たせ、1 中学校あたり 2～3 の小学校が望ましい。		
通学区域の境界	地域との十分な協力関係のもと、その地域の特性をいかした学校づくりを進めていくため、原則として 13 ブロック、町丁目の区域、町会・自治会の区域をできる限り分断しない配慮が必要である。また通学区域と青少年対策地区委員会の区域についてはできる限り整合性を図る必要がある。		
通学路	特に小学校の場合の安全性を重要視し、主要道路（国道 4 号線ほか）、鉄道および河川により通学路が原則として分断しないことが望ましい。		

適正な通学時間の目安「おおむね 30 分以内」

これまでは、通学距離、通学区域、通学路について基準を定めてきました。今回の見直しでは、より具体的な基準とするため、一般的に子どもが通学にかけられる時間を、目安として新たに定めます。

そこで、内閣府による子どもの起床時間の調査や、東京都内の学校の通学時間の調査、足立区の学校の登校時間などを勘案し、通学で使える時間は 30 分から 40 分という結果が得られました。このことから、通学時間は「おおむね 30 分以内」を一つの目安とします。

適正な通学距離の目安「小学校は、おおむね 1,200m以内・中学校は、おおむね 1,800m以内」

新たに設けた、通学時間「おおむね 30 分以内」という基準から、30 分で子どもが歩ける距離を求め、新たな距離の基準とします。

子どもの歩く速さに関するデータを基にして、その中でも比較的遅く歩いた場合の速度である、小学生は分速 40m、中学生は分速 60mを採用します。

その結果、小学生は「分速 40mで 30 分歩くとおおむね 1,200m進む」、中学生は「分速 60mで 30 分歩くとおおむね 1,800m進む」ことができます。

実際の通学路は、学校ごとに道路条件や地形によって状況が異なります。そのため、通学距離の基準は、自宅から学校までの直線距離で測って設定しています。この基準は、今後も通学路が著しく長距離にならないための一つの目安として活用していきます。

4 通学路の安全対策

学校の統合が行われると、通学する校舎の変更のため、在学中に通学路が数回変わります。通学路の変更に伴う子どもたちの不安を出来る限り取り除き、また、保護者の心配を軽減できるよう、これまでの取り組みに新たな対策を追加します。

これまでの安全対策

通学路合同点検の実施

実施概要 交差点改良（ガードパイプや歩道、外側線の調整）、歩行者用信号の横断可能時間の延長、横断歩道の新設や移転、路面表示・グリーンベルトの施工、スクールゾーン規制の新設など。

P T A 及び開かれた学校づくり協議会、町会・自治会など地域の方による見守りや、通学路安全マップの作成

交通安全教室の実施・青パトによる巡回

学童擁護員による通学指導

防犯カメラの設置

ア．設置場所 通学路のうち、犯罪抑止に効果的な場所（公園付近など）

イ．設置台数 各校 5 台、平成 30 年度までに全校に設置

新たな安全対策

\*学童擁護員を増員し、支援を行います。

ア．配置場所 統合等により新たに設けた通学路のうち、通学路合同点検などで危険と判断した場所に配置します。

イ．配置時間 登校時 1 時間、下校時 3 時間を上限に必要な時間配置します。

ウ．配置箇所数 1 校につき原則 3 か所以内とします。

\*スクールガードボランティアの募集を行います。

P T A 及び開かれた学校づくり協議会、町会・自治会など地域の方が実施している見守りについて、スクールガードボランティアとして登録し、物品の貸与やボランティア保険の適用など活動の支援を行います。

\*小学校登下校システムの設置（メール配信サービス）

児童の登下校を、保護者に電子メールでお知らせするサービスを、モデル校に導入します。モデル校での検証を経て、今後の統合校に導入していきます。

\*防犯カメラを増設します。

統合に伴い距離が延びる通学路に、通常 5 台（東京都補助台数）に上乗せして防犯カメラを設置します。

\*交通安全グッズ（反射板等）を配付し、遠くからでも児童を確認できる状況を整えます。

下校時安全放送の回数を増やし、地域全体で見守る意識を高めます。

登校班の編成を促していきます。

\*印の取り組みについては、 統合校で実施します。

5 施設更新に関する方針

学校施設の耐用年数「65年から82年程度」

これまで学校施設の耐用年数は50年としてきましたが、建築年次によってコンクリート強度が異なるため、建物のコンクリート耐久設計基準強度から判定される供用限界期間を改築の目安の新基準とします。この年数は、構造体及び部材の要求性能を示し、設計・施工の目標を明確にした「構造体の総合的耐久性（日本建築学会）」に基づくものです。

また、供用限界期間は、その年数までに建物保全を行わなかった場合と定義しており、期間内に適切に保全工事を実施することにより、さらに寿命を延ばすことができるとされています。

- ・昭和40年代半ばまでに建設した学校は65年程度とします。
  - ・平成10年代半ばまでに建設した学校は82年程度とします。
  - ・新耐震構造基準（昭和56年）に適合した建物及び近年の躯体強度の高い建物については、コンクリート強度に応じた供用限界期間を参考にします。

施設更新の実施基準

原則として建築年次の古い順とします。

新耐震構造基準（昭和56年）に適合した小・中学校は、建物強度に応じて長期使用します。また、統合が伴った場合も、長期使用可能な建物強度を有するため、原則使用します。さらに、耐用年数に達していない小・中学校についても同様とします。

原則「RC造（鉄筋コンクリート造）」としますが、周辺や立地、敷地の状況等により「S造（鉄骨造）」及び「SRC造（鉄骨鉄筋コンクリート造）」を適宜取り入れます。

\* 統合の実施、周辺の公共施設整備や施工時期、社会情勢等に伴い、実施年次の調整や停止を行う場合があります。

保全工事の実施基準

改築目標年次まで、10年を超える期間を有する学校を対象とします。

施設の長寿命化を目的とする関連工事を中心に実施します。

工事内容は、各学校の施設状況に応じて判断します。

環境の向上を図るため、耐用年数満了となる空調設備の入れ替え及びトイレ改修を進め、新校との平準化に早急に取り組んでいきます。

特別支援教室の設置

平成28年度から特別支援教室を順次導入し、平成30年度までに全ての小学校に設置します。また、中学校においては現在、都内4区市で特別支援教室モデル事業を実施しているため、状況を注視しながら柔軟に対応できるよう準備を進めていきます。

\* 特別支援教室とは、通常の学級に在籍する、知的発達に遅れのない発達障がいや、情緒障がいのある児童のための教室です。

6 今後取り組むエリア

平成25年の施設更新計画から引き続き取り組むエリア

引き続き江北・鹿浜・入谷地区の統合に向けた準備と検討を進めます。

地区	学校名	学級	学校規模	建築年	今後の方針
江北	江北小	11	小規模	S41	両校とも建築後約50年を経過し施設更新の検討が必要です。また、平成25年度に高野小学校と江北小学校の統合に向けた実施計画(案)を策定しています。引き続き、江北エリアデザイン検討地域での建設なども含め、統合に向けた準備を進めます。
	高野小	12	小規模(人数)	S37	
鹿浜	鹿浜五色桜小	14	適正	S47	鹿浜五色桜小学校と皿沼小学校を除く3校は建築後40年以上を経過します。鹿浜西小学校の小規模傾向が見られるため、引き続き検討を進めます。
	鹿浜西小	8	小規模	S44	
	北鹿浜小	12	小規模(人数)	S48	
	鹿浜第一小	18	適正	S40	
入谷	皿沼小	11	小規模	S57	足立入谷小学校で小規模傾向が見られます。また、足立入谷小学校では年少人口の減少が見られます。入谷中学校と入谷南中学校で小規模傾向が見られます。また、入谷中学校では年少人口の減少が見られます。この地区は、平成34年以降に生産緑地の宅地化が進んだ場合、年少人口の増減に影響を及ぼす可能性もあるため、その動向も注視しながら検討していきます。
	舎人小	15	適正	S44	
	舎人第一小	16	適正	S61	
	足立入谷小	8	小規模	S50	
	入谷中	5	小規模	S51	
	入谷南中	9	小規模	H2	

学級数は、平成28年度現在

- ・統合対象校や統合年次は、学校の小規模化や年少人口の増減を踏まえ、検討していきます。
  - ・江北エリアは、引き続き高野小学校と江北小学校の統合に向けた準備を進めます。平成25年度に策定した実施計画（案）と江北エリアデザイン検討地域内との比較検討を行い、統合年次や統合新校の位置を決定していきます。

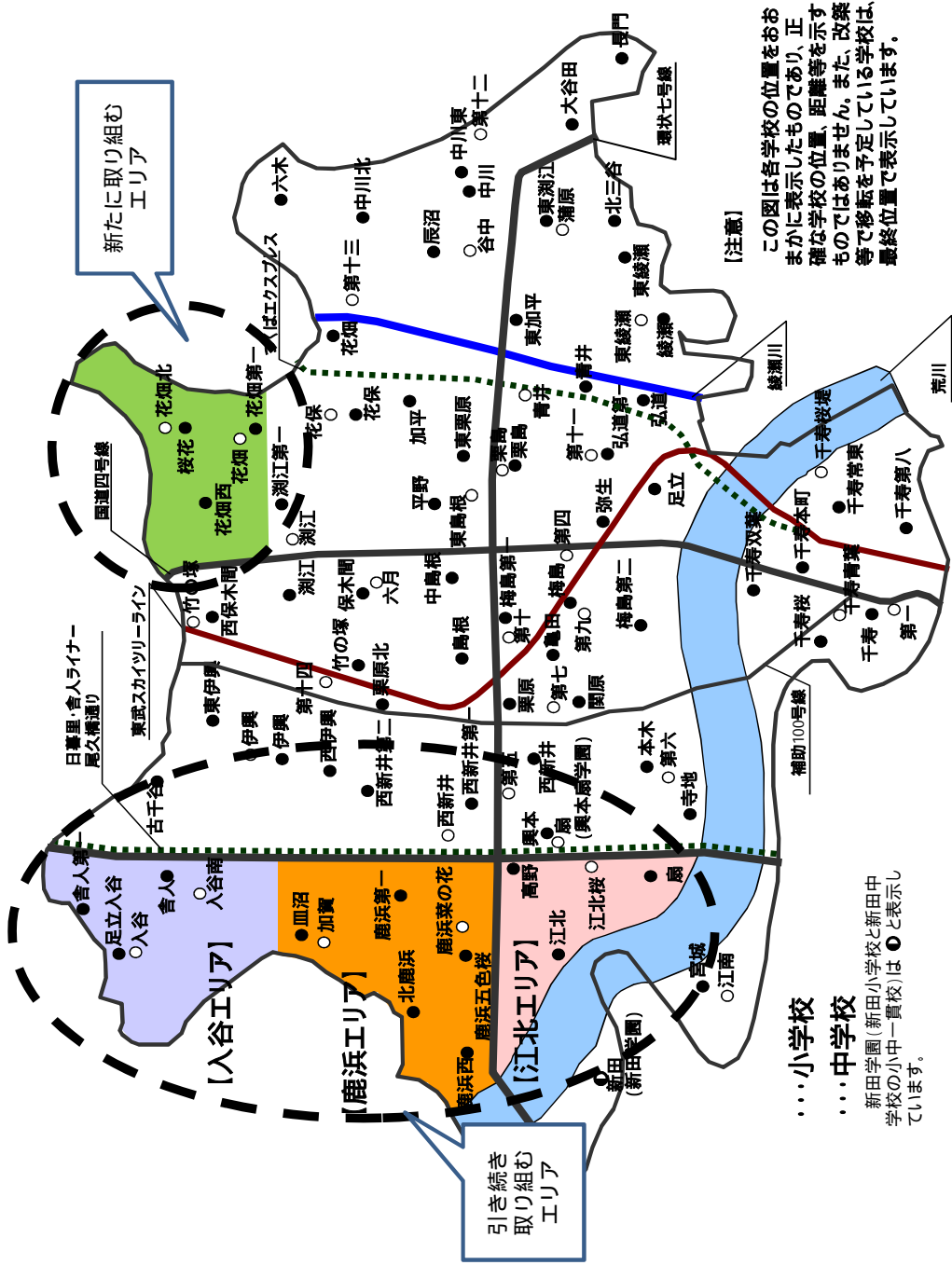
花畑地区の検討を進めます。

地区	学校名	学級	学校規模	建築年	今後の方針
花畑	花畑第一小	12	小規模 (人数)	S38	花畑第一小学校は建築後約50年を経過し施設更新の検討が必要です。また、花畑西小学校では年少人口の減少が見られます。今後の動向を注視していきます。
	花畑西小	13	適正	S45	
	桜花小	12	適正	S47	
	花畑中	5	小規模	S38	花畑中学校は建築後約50年を経過し施設更新の検討が必要です。両校ともに小規模傾向が見られることと、年少人口の減少が見られることから、検討を進めます。
	花畑北中	6	小規模	S53	

学級数は、平成28年度現在

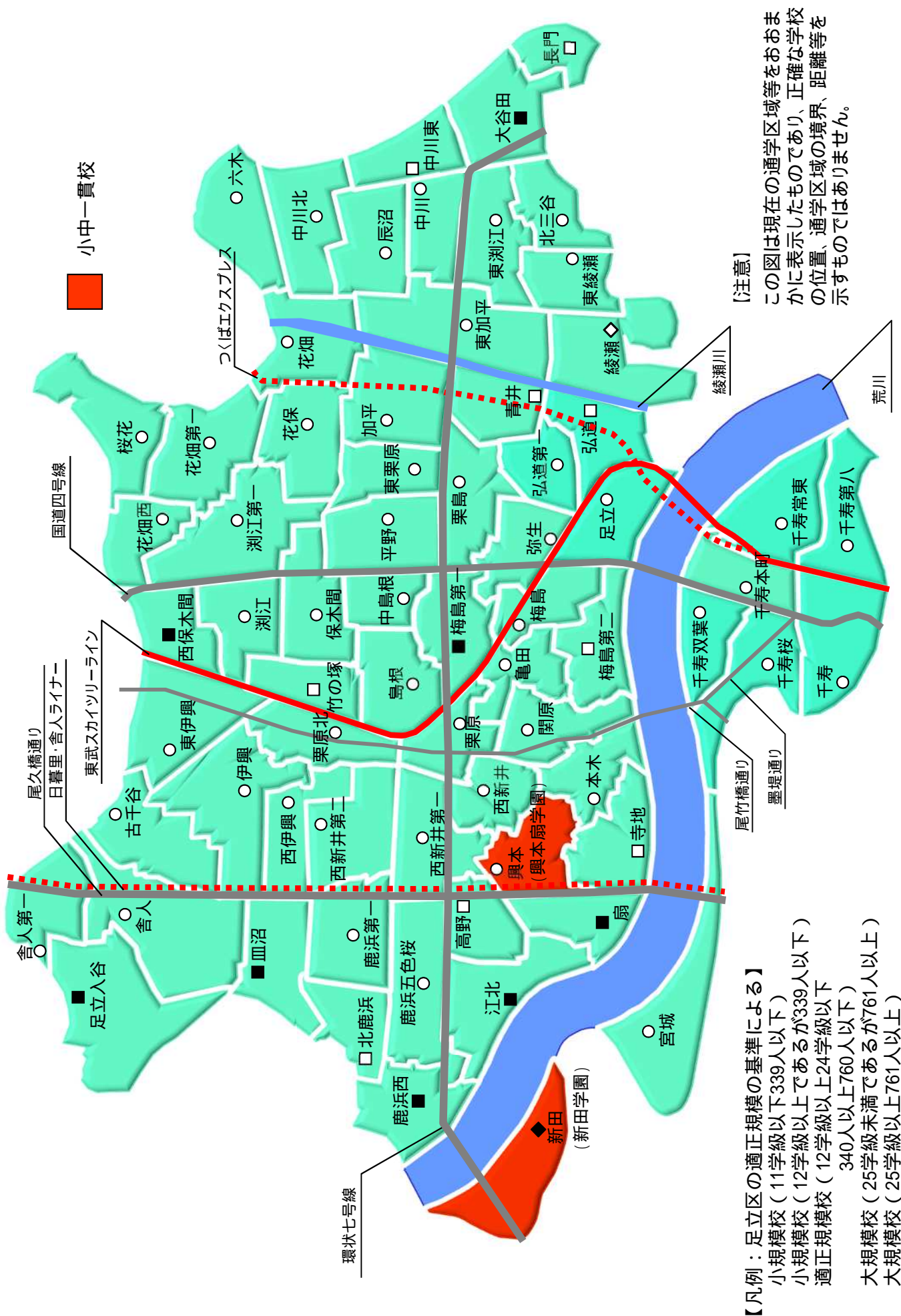
- ・花畑第一小学校と花畑中学校の施設更新の検討を行います。
- ・・小学校の統合対象校や統合年次は、学校の小規模化や年少人口の増減を踏まえ、検討していきます。
- ・中学校の小規模化を解消するため、適正規模化の検討を行います。

今後取り組みエリアの取り組み年次については、今後の動向をみながら検討を進めます。

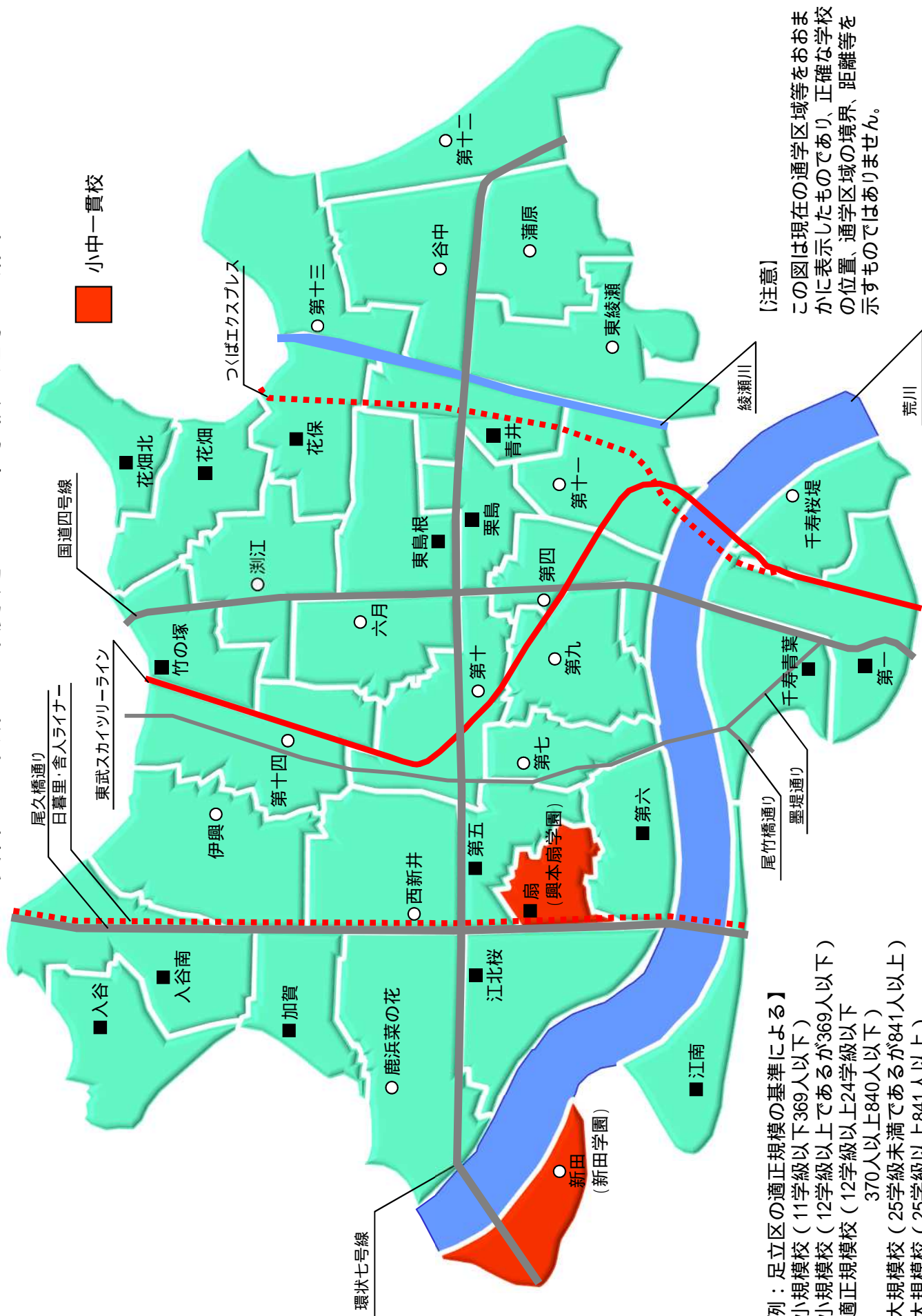




### 資料 3 平成 29 年度 足立区立小学校の通学区区域図



# 資料4 平成29年度 足立区立中学校の通学区区域図



資料5 平成29年度 足立区立小・中学校の児童・生徒数および学級数一覧

【小学校別】

平成29年5月1日現在

番号	小学校名	児 童 数							学 級 数						
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
1	千寿第八	77	97	98	83	90	66	511	3	3	3	3	3	2	17
2	西 新 井	94	98	105	90	84	81	552	3		3	3	3	3	15
3	西新井第一	70	62	78	66	83	71	430	2	2	2	2	3	2	13
4	西新井第二	48	58	63	66	63	61	359	2	2	2	2	2	2	12
5	西 伊 興	98	78	85	63	60	65	449	3	3	3	2	2	2	15
6	興 本	71	75	74	79	71	64	434	3	3	2	2	2	2	14
7	本 木	61	83	70	93	74	66	447	2	3	2	3	2	2	14
8	寺 地	66	57	55	49	53	41	321	2	2	2	2	2	2	12
9	関 原	68	66	66	65	68	57	390	2	2	2	2	2	2	12
10	江 北	32	35	47	44	39	45	242	1	1	2	2	1	2	9
11	高 野	48	59	48	48	58	47	308	2	2	2	2	2	2	12
12	扇	55	46	54	42	49	38	284	2	2	2	2	2	1	11
13	鹿浜第一	97	98	94	117	101	89	596	3	3	3	3	3	3	18
14	北 鹿 浜	36	52	46	53	62	47	296	2	2	2	2	2	2	12
15	鹿 浜 西	27	33	32	36	39	49	216	1	1	1	1	1	2	7
16	新 田	246	226	246	209	221	178	1326	8	7	7	6	6	5	39
17	宮 城	79	93	85	64	85	64	470	3	3	3	2	3	2	16
18	舎 人	80	99	79	101	67	71	497	3	3	2	3	2	2	15
19	梅 島	100	101	101	130	105	93	630	3	3	3	4	3	3	19
20	梅島第一	39	42	44	37	35	52	249	2	2	2	1	1	2	10
21	梅島第二	49	59	57	53	51	45	314	2	2	2	2	2	2	12
22	島 根	67	92	83	91	92	91	516	2	3	3	3	3	3	17
23	亀 田	173	135	126	130	105	79	748	5	4	4	4	3	2	22
24	栗 原	65	62	60	58	61	84	390	2	2	2	2	2	3	13
25	栗 島	66	70	85	65	58	60	404	2	2	3	2	2	2	13
26	加 平	82	96	84	98	66	49	475	3	3	3	3	2	2	16
27	東 栗 原	62	65	64	71	73	86	421	2	2	2	2	2	3	13
28	弥 生	92	74	89	97	88	96	536	3	3	3	3	3	3	18
29	弘 道	55	49	47	51	60	47	309	2	2	2	2	2	2	12
30	弘道第一	54	55	59	58	67	64	357	2	2	2	2	2	2	12
31	青 井	46	62	51	58	55	51	323	2	2	2	2	2	2	12
32	綾 瀬	136	131	130	123	156	132	808	4	4	4	4	4	4	24
33	東 加 平	94	95	82	95	91	71	528	3	3	3	3	3	2	17
34	東 湊 江	98	119	113	137	133	121	721	3	4	3	4	4	3	21
35	中 川	76	85	95	94	92	81	523	3	3	3	3	3	3	18
36	中 川 北	81	82	81	88	97	78	507	3	3	3	3	3	2	17
37	北 三 谷	55	69	88	50	58	68	388	2	2	3	2	2	2	13
38	大 谷 田	46	53	45	38	50	38	270	2	2	2	1	2	1	10
39	長 門	41	44	57	55	67	56	320	2	2	2	2	2	2	12
40	花 畑	58	60	58	61	69	57	363	2	2	2	2	2	2	12

番号	小学校名	児 童 数							学 級 数						
		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計
41	花畑第一	69	57	56	54	56	57	349	2	2	2	2	2	2	12
42	花畑西	57	58	69	93	70	65	412	2	2	2	3	2	2	13
43	花保	77	99	89	84	91	91	531	3	3	3	3	3	3	18
44	測江	81	74	73	69	67	86	450	3	3	2	2	2	3	15
45	測江第一	86	86	111	93	119	97	592	3	3	3	3	3	3	18
46	保木間	51	52	66	71	71	65	376	2	2	2	2	2	2	12
47	竹の塚	55	52	59	63	54	55	338	2	2	2	2	2	2	12
48	伊興	104	91	89	104	97	103	588	3	3	3	3	3	3	18
49	東伊興	85	82	104	98	90	90	549	3	3	3	3	3	3	18
50	中島根	71	77	88	75	79	83	473	3	3	3	2	2	3	16
51	古千谷	90	102	100	89	99	85	565	3	3	3	3	3	3	18
52	東綾瀬	71	77	88	83	56	62	437	3	3	3	3	2	2	16
53	栗原北	84	91	77	84	82	79	497	3	3	2	3	3	2	16
54	平野	86	73	66	65	61	76	427	3	3	2	2	2	2	14
55	辰沼	86	75	80	90	73	64	468	3	3	2	3	2	2	15
56	六木	84	84	74	86	85	81	494	3	3	2	3	3	3	17
57	中川東	44	54	48	56	49	56	307	2	2	2	2	2	2	12
58	皿沼	41	53	45	63	37	50	289	2	2	2	2	1	2	11
59	舎人第一	81	88	84	85	83	76	497	3	3	3	3	3	2	17
60	千寿本町	67	70	69	67	67	82	422	2	2	2	2	2	3	13
61	千寿桜	65	80	74	49	68	60	396	2	3	2	2	2	2	13
62	桜花	64	67	71	59	64	63	388	2	2	2	2	2	2	12
63	西保木間	35	31	45	39	45	54	249	1	1	2	1	2	2	9
64	足立入谷	26	19	39	21	31	41	177	1	1	1	1	1	2	7
65	千寿	106	103	102	86	73	74	544	4	3	3	3	2	2	17
66	千寿常東	101	103	99	89	84	100	576	3	3	3	3	3	3	18
67	千寿双葉	82	93	71	68	78	55	447	3	3	2	2	2	2	14
68	足立	101	112	94	89	89	117	602	3	4	3	3	3	3	19
69	鹿浜五色桜	92	65	60	71	92	65	445	3	2	2	2	3	2	14
合 計		5,130	5,283	5,314	5,249	5,206	4,931	31,113	178	176	171	170	164	161	1,020



## 【中学校別】

平成29年5月1日現在

番号	中学校名	生徒数				学級数				
		1年	2年	3年	合計	1年	2年	3年	複式	合計
1	第一	74	61	74	209	3	2	2		7
2	第四	205	195	202	602	6	5	6		17
3	第五	76	101	103	280	3	3	3		9
4	第六	96	70	112	278	3	2	3		8
5	第七	127	125	129	381	4	4	4		12
6	第九	174	181	188	543	5	5	5		15
7	第十	165	164	166	495	5	5	5		15
8	第十一	223	232	209	664	7	6	6		19
9	第十二	145	130	133	408	5	4	4		13
10	第十三	203	195	184	582	6	5	5		16
11	第十四	273	271	274	818	8	7	7		22
12	江南	41	46	31	118	2	2	1		5
13	新田	155	133	93	381	5	4	3		12
14	江北桜	101	77	88	266	3	2	3		8
15	鹿浜菜の花	133	170	163	466	4	5	5		14
16	東島根	111	99	87	297	4	3	3		10
17	渚江	200	204	233	637	6	6	6		18
18	竹の塚	60	85	78	223	2	3	2		7
19	東綾瀬	204	190	169	563	6	5	5		16
20	青井	22	43	32	97	1	2	1		4
21	花畑	46	71	36	153	2	2	1		5
22	蒲原	155	195	171	521	5	5	5		15
23	西新井	197	211	199	607	6	6	5		17
24	入谷	29	52	32	113	1	2	1		4
25	伊興	195	156	191	542	6	4	5		15
26	花畑北	43	58	71	172	2	2	2		6
27	花保	73	61	74	208	3	2	2		7
28	谷中	153	159	166	478	5	4	5		14
29	栗島	63	66	82	211	2	2	3		7
30	扇	62	91	95	248	2	3	3		8
31	加賀	66	71	78	215	2	2	2		6
32	入谷南	114	99	118	331	4	3	3		10
33	六月	197	190	190	577	6	5	5		16
34	千寿青葉	129	108	131	368	4	3	4		11
35	千寿桜堤	168	171	171	510	5	5	5		15
小計		4,478	4,531	4,553	13,562	143	130	130		403
	四中夜間(一般)	1	5	21	27	1	1	1		3
	四中夜間(日本語)	2	23	20	45				3	3
合計		4,481	4,559	4,594	13,634	144	131	131	3	409

【特別支援学級】

小学校

平成29年5月1日現在

区分	障がい 種別	番号	学校名	児 童 数							学級数
				1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計	
固定級	知的	1	千寿常東	2	1	4	1	1	1	10	2
		2	本 木	1	2	2	4	2	4	15	2
		3	関 原	1		1	4	3	2	11	2
		4	高 野	5	4	8	5	3		25	4
		5	鹿浜第一	3	4	2	4	5	4	22	3
		6	新 田	2	2	2	2	1		9	2
		7	梅島第二		4	2	3	4		13	2
		8	東 淵 江	2	5	3	3	2	1	16	2
		9	花 畑	1	1		1	1	3	7	1
		10	淵 江	4	1	4	9	2		20	3
		11	青 井	3	1	3	1	3	5	16	2
		12	古 千 谷		1	6	3	2	7	19	3
		13	平 野	4	3	1	6	1	4	19	3
		14	六 木	3	6	2	1	6	5	23	3
		15	千 寿 桜	2			1	1	1	5	1
		16	宮 城	2			2	1	1	6	1
		17	桜 花	1	1	2	1	1	1	7	1
		18	西 伊 興	3	4	7	1	3	3	21	3
		19	足 立	5	1	5	4		1	16	2
固定級 合計				44	41	54	56	42	43	280	42
通級	弱視	1	足 立		1	3	1	2	2	9	1
		小計			1	3	1	2	2	9	1
	難聴	2	弥 生	1	3	1	3	2	1	11	1
		3	中 川 東	休学級							
		4	千寿本町		1		1	2		4	1
	小計		1	4	1	4	4	1	15	2	
	言語	5	弥 生	2	15	16	2	3	3	41	3
		6	中 川 東		6	9	5	2	1	23	2
		7	千寿本町	3	8	7	4	2	4	28	2
	小計		5	29	32	11	7	8	92	7	
	情緒	8	辰 沼		3	3	1	1	5	13	
		9	保 木 間	8	9	10	16	8	8	59	
		10	鹿浜五色桜	8	5	6	5	6	9	39	
	小計		16	17	19	22	15	22	111		
通級 合計				22	51	55	38	28	33	227	10
特別支援 教室	情緒	4 9 校		110	157	167	143	121	99	797	
訪問 合計				110	157	167	143	121	99	797	

中学校

平成29年5月1日現在

区分	障がい 種別	番号	学校名	生 徒 数				学級数
				1 年	2 年	3 年	合計	
固定級	知的	1	第 一	6	10	6	22	3
		2	第 六	4	4	8	16	2
		3	第 七	8	14	6	28	4
		4	鹿浜菜の花	3	3	4	10	2
		5	第 十 三	8	11	12	31	4
		6	東 綾 瀬	5	6	12	23	3
		7	伊 興	9	5	9	23	3
		8	栗 島	15	8	8	31	4
		9	新 田	3	1		4	1
固定級 合計				61	62	65	188	26
通級	情緒	1	第 十	12	27	29	68	7
		2	花 保	16	22	27	65	7
通級 合計				28	49	56	133	14

足立区立小・中学校の適正規模・適正配置実施計画  
- 北鹿浜小学校と鹿浜西小学校の適正規模・適正配置実施計画 -

発	行	足立区教育委員会
編	集	足立区教育委員会事務局
		学校運営部 学校適正配置担当課
		住所：足立区中央本町一丁目 17 番 1 号
		電話：03-3880-5426（直通）
発行年月		令和元年 6 月

